

## 校 旗



## 校 章



唐津西高校



唐津高校



唐津高等女学校

## 校 歌

### 唐津西高等学校校歌

作詞 三根 寿太  
作曲 板本不二夫

一 梅豆籠の里の歴史の跡  
ゆかし面影惚びつ、

誓も新た勤しあば  
袂も新め松浦湯

袂も新め松浦湯  
袂も新め松浦湯

袂も新め松浦湯  
袂も新め松浦湯  
袂も新め松浦湯  
袂も新め松浦湯

二 夢路に進ふ 潮騒の  
西の浜辺の 霞蒼み

渚に睦ぶ 群像の  
揚ぐる飛沫に 虹の立つ

ああ赤銅の 健康さ  
たゞら力よ 字じ舎よ

鍛えよ西高 我等の西高  
我等の西高

三 青雲なびく 浮城の  
姿も襟き 朝ばらけ  
里湖おどる 玄海と  
不斷の努力 競ふなり  
ああ青春の 感激や  
高き理想よ 字じ舎よ  
榮あれ西高 我等の西高

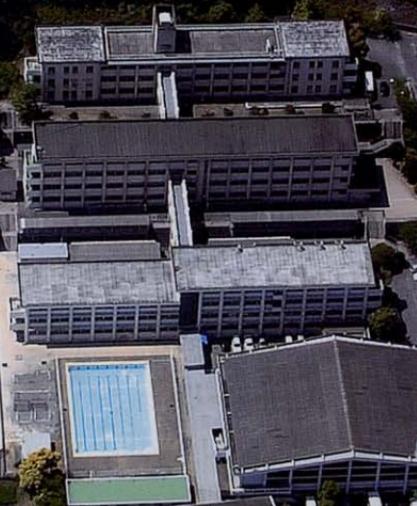




ハナ子像（P35に関連記事）



100



# 歴代校長

唐津高等女学校～唐津二高



第4代  
黒土 四郎  
昭和2年9月～



第3代  
中野 才次  
大正9年10月～



第2代  
秀島寅治郎  
大正8年12月～



初代  
丸山 置治  
明治40年4月～



第8代  
平川 信晴  
昭和19年4月～



第7代  
夏秋 源治  
昭和12年4月～



第6代  
赤司 嘉一  
昭和5年10月～



第5代  
広羽 武雄  
昭和3年2月～

唐津高等学校（総合高校）



第2代  
市場直次郎  
昭和26年4月～



初代  
内田 英夫  
昭和24年4月～



第10代（唐津二高 初代）  
江下 俊一  
昭和22年4月～



第9代  
前田 勝郎  
昭和21年4月～

唐津西高等学校（分離後）



第4代  
川島 秀重  
昭和42年4月～



第3代  
嘉村 尚  
昭和39年4月～



第2代  
松雪 信三  
昭和34年4月～



初代  
鈴田 保  
昭和31年4月～



第8代  
井手 徳夫  
昭和58年4月～



第7代  
西岡 二郎  
昭和55年4月～



第6代  
志津田一男  
昭和51年4月～



第5代  
川添 一  
昭和45年4月～



第12代  
藤井 歩一  
平成2年4月～



第11代  
坂本 秀雄  
昭和62年6月～



第10代  
多久島 勇  
昭和62年4月～



第9代  
江島 正和  
昭和60年4月～



第16代  
木村 宏  
平成13年4月～



第15代  
堤 浩康  
平成11年4月～



第14代  
石井 俊治  
平成8年4月～



第13代  
西牟田 敦  
平成6年4月～



第18代  
竹森 唯幸  
平成17年4月～



第17代  
山崎 俊介  
平成15年4月～



# 唐津女学校

明治四十年



郡公会堂

大正2年大名小路（現県総合庁舎地）に建設された洋風木造建築で、長期間郡民の各種会合に使われて来た。唐津女学校当初は仮校舎として使われた。

明治四十年  
三月八日

實業學校令ニ據り設置ノ認可ヲ得  
町立唐津女學校ト稱ス。

同月十六日

佐賀縣視學丸山瀧治校長ニ任ゼラ  
レ同月二十日ヨリ唐津町役場内ニ

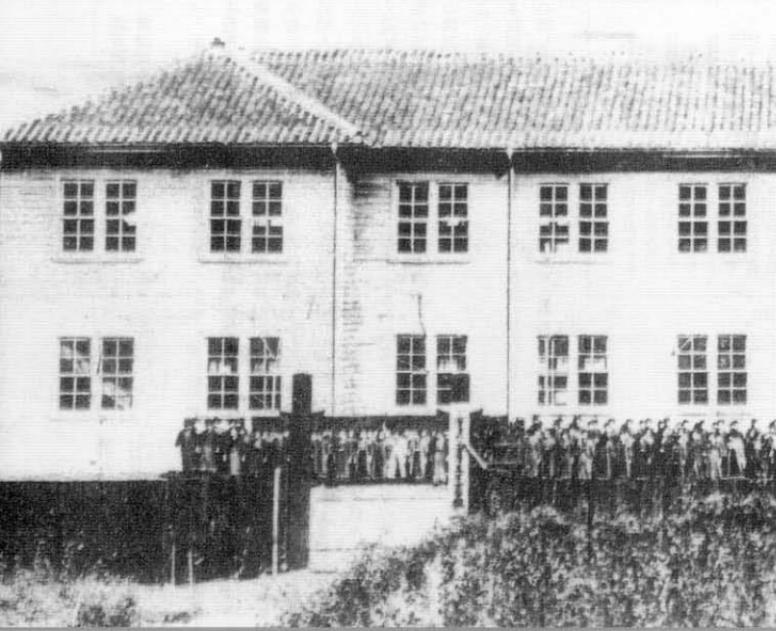
於テ開校準備ノ事務ヲ開始ス。  
東松浦郡々會議事堂「大名小路」ヲ  
假校舎ニ充て開校ス、當時入學ヲ許

可セシ生徒ハ第一學年二百三名第  
二學年二七〇名ニシテ之ヲ學級二  
編制ス。（一年二學級二年一學級）  
教育ニ關スル勅語體本ヲ拜戴ス。  
五月三日



# 唐津高等女学校

〔明治四十一年～昭和二十二年〕



唐津高等女学校

明治40年、唐津市大名小路に町立女学校として設立され、翌年4年制の高女となり坊主町に移転、やがて県立に改称。東松浦地区唯一の女子の教育機関だった。唐津西高の前身。写真は明治43年ごろ。

〔明治四十一年〕  
二月十九日

本校ハ當初實業學校令ニ據り設置シタルモ元來町民ノ希望ハ高女學校組織ニアリタルヲ以テ之モ變更ヲ議決シ從来ノ學校ハ明治四十一年三月三十一日限廢止シ更ニ同年四月一日ヨリ町立唐津高等女學校トシテ設置ノ件本日認可ヲ得。

高等女學校ニ組織變更ノ結果第二學年二百名第三學年二十五名ノ編入學

及第一學年二十七一名ノ新入學ヲ許可シ之ヲ五學級ニ編制ス。但シ編入學試験ハ本縣監督官立合ノ上之ヲ行フ。(修業年限四年)

新築校舎ノ一部竣工シタルニヨリ假校舎ヨリ移轉ス。六〇〇・五番地二

〔坊主町校地〕

十一月十六日  
同月九日  
十二月十五日

戊申詔書ノ體本ヲ拜戴ス

唐津町立唐津高等女學校ト名稱變更ノ件認可ヲ得。



# 唐津高等学校

【昭和二十三年～昭和三十年】



西校舎（昭和31年）



（昭和31年）



# 唐津西高等学校

【昭和三十一年～現在】



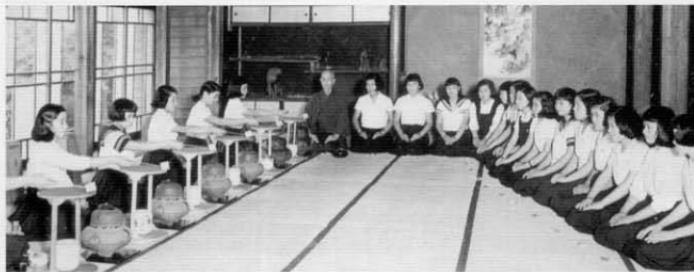
文化祭（昭和31年 卒業アルバムより）



タイプ部（昭和31年 卒業アルバムより）



剣道部（昭和31年 卒業アルバムより）



茶道部（昭和31年 卒業アルバムより）

## 四、丸山校長時代

(自明治四十年三月 至大正八年十二月) 十二ヶ年

丸山校長の教養方針  
（自明治四十年三月 至大正八年十二月）十二ヶ年  
丸山校長は、常に地方的の短所たる輕佻浮華の弊風に關しては終始一貫之が矯正に努め其の實績を収めた。又自治自動の精神涵養につきても銳意大に努められた。

丸山置設校長の風格並事業  
資性剛直洒落にして簡明、一面峻厳にして一面慈愛に富めり。常に身を持すること倫素、事に當るや然誠敢爲、萬難を排して遂行せり。其の部下を御するや寬嚴宜しきを得、生徒に接するや眞摯懇到孜々として倦まず。常に淳厚輕佻を戒め、質素着實を奨め、躬行實踐其の範を示せり、殊に奉公の念厚く、其の勲六等瑞寶章を受けるや、「老朽徒寒後進人、勳章拜戴却傷神、天恩優渥感何極、猶染白頭酬至仁」の述懷の詩あり、其の性格の一斑を窺ふに足る。又能く町當局者と折衝し地方有志と提携し、其の間和親融合して、圓満に學校事業を遂行し、施爲盡策其の宜しきを得、苦心努力其の功を奏し、以て經營景も困難とする町立女學校をして漸次擴張發

展せしめ、遂に今日あらしむるに至れり。宜なるか

な内は職員生徒の敬慕益々深く、外は父兄の信頼する所愈々厚きを加ふるものありしや。其の訃報到るや、生徒卒業生等は恰も慈父を亡ひたるが如く號慟

已まざ、父兄有志も亦悼惜措く能はず、共に哀悼の忱衷を表して厚く其の遺靈を弔へり。亦以て其の風格の非凡にして、其の功績の偉大なりしを察知するに足るべし。

同月

學級ヲ八學級に増加ス。

文部省教授要目改正ノ結果ニ伴ヒ  
教科用圖書全部改訂ノ為本校採用  
ノ教科書ヲ變更ス。上ヲ音樂教室ニ充ツ但シ本建物ハ  
初メ生徒寄宿舎増築ノ目的ニテ設  
計セシモ中止ノ為之ヲ教室ニ充用

六月一日

校舍擴建（階建）新築落成ニ付隨  
上ヲ音樂教室ニ充ツ但シ本建物ハ  
初メ生徒寄宿舎増築ノ目的ニテ設  
計セシモ中止ノ為之ヲ教室ニ充用

六月一日

校舍擴建（階建）新築落成ニ付隨  
上ヲ音樂教室ニ充ツ但シ本建物ハ  
初メ生徒寄宿舎増築ノ目的ニテ設  
計セシモ中止ノ為之ヲ教室ニ充用

五月三日

第五回卒業證書授與式ヲ舉行ス。卒

業生六九名。

皇太后陛下崩御ニ付奉悼式ヲ舉行

五月十二日

斯。

五月二十一日

文部省督官兼森嘉壽氏視察セラ

五月三十日

第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス。卒業生六九名。

五月三日

第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス。卒業生六九名。

五月二十一日

第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス。卒業生六九名。

五月二十七日

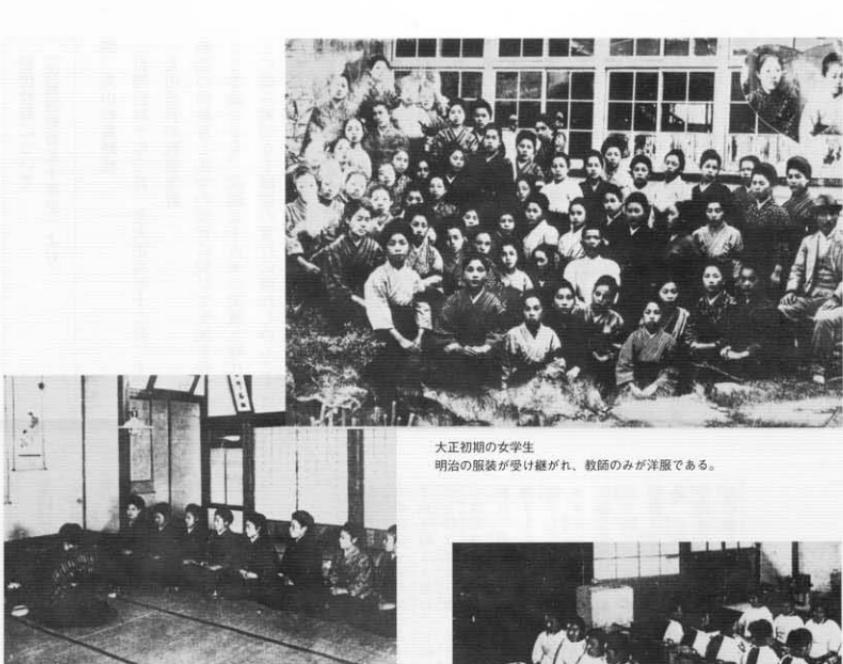
第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス。卒業生六九名。

五月二十九日

第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス。卒業生六九名。

（○）唐津女學校卒業式 唐津市立唐津高等女學校第一回卒業證書授與式は、一時廿八日前十時、同校行生徒會長來賓、同校教諭、學生證書授與、賞狀授與ありて後丸山校長は「一場の訓示を爲し長崎事務官は知事代理解して祝辭を朗誦し柳田東松浦郡長は來賓として祝辭を述べ、次に在校生徒代山田エイ女の祝辭卒業生慧代翁池エイ女の答辭朗讀生徒父兄の挨拶あり終て唱歌を合唱し式を閉じたるが來賓には茶葉の製ありたり來賓は前記の外矢田副長、生田唐津中學校長、小學校長、銀行會員、縣市會議員、第約百三十名なりき賀者並に卒業生人名左の如し

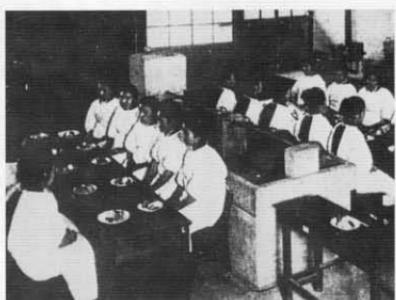
佐賀新聞 明治43年3月28日付



大正初期の女学生  
明治の服装が受け継がれ、教師のみが洋服である。

高女作法授業

婦道が重んじられた時代の正科授業として茶道があった。  
写真は大正中頃。



大正中頃の料理授業  
これでも当時は最新設備。  
写真は唐津高等女学校、大正中期のものである。

<p>〔大正五年〕 三月二十七日</p> <p>第五回卒業證書授與式ヲ舉行ス。 業生七十五名。</p>
<p>四月</p>
<p>十月二十六日</p>
<p>十一月三日</p>
<p>〔大正六年〕 三月二十八日</p>
<p>四月</p>
<p>五月</p>
<p>十月十三日</p>
<p>十一月二十日</p>
<p>十二月二十六日</p>
<p>〔大正七年〕 三月</p>
<p>六月二十五日</p>
<p>七月一名。</p>
<p>第九回卒業證書授與式舉行。卒業生 皇太子殿下御眞影ヲ拜戴ス。</p>
<p>六月二十九日</p>
<p>教諭山田於第三節獨託毛利瑞應勤 績十年以上ニ達シタルヲ以テ勤功 表彰式ヲ舉行シ校友會ヨリ記念品 ヲ贈ル。</p>
<p>文部省視學委員奈良女子高等師範 學校教授石野又吉理科數學教授ヲ 视察ス。</p>
<p>記念品ヲ贈ル。</p>
<p>教諭山田於第三節獨託毛利瑞應勤 績十年以上ニ達シタルヲ以テ勤功 表彰式ヲ舉行シ校友會ヨリ記念品 ヲ贈ル。</p>

【大正十一年】  
十一月五日

本日ヨリ三日間開立十五周年記念式ヲ舉行ス。

第一回 記念式及祝賀會。

第二回 死亡職員並卒業生ノ追悼祭。

音樂會。

學藝品展覽會。

十一月十日

大勳位功二級元帥陸軍大將伏見宮貞愛親王殿下爵國葬當日二付遙拜式ヲ舉行ス。

十一月十四日

第四學年生徒引率長崎市ニ一泊ノ修學旅行ヲ行フ。宿泊旅行ハ今回ヲ略矣トス。

同月二十日

前文部大臣早稻田大學名譽學長高田早苗博士來校講演アリ。

十一月二十四日

第十四回卒業證書授與式ヲ舉行ス。

十一月三十日

洋服ヲ生徒ノ制服ト定メ和服ト併用ノ件認可ヲ受ク。

九月五日

關東地方大震災火災救助義捐金ヲ送卒業生九名。

五月二十日

第一回公開講座ヲ本校ニ開催ス。

七月一日

洋服ヲ生徒ノ制服ト定メ和服ト併用ノ件認可ヲ受ク。

十一月二十二日

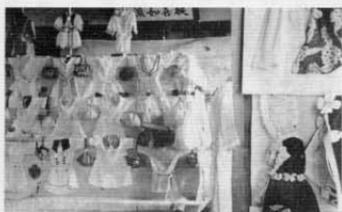
文部省視學委員第五高等學校教授西川五郎歴史科教授視察セラル。

十一月十八日

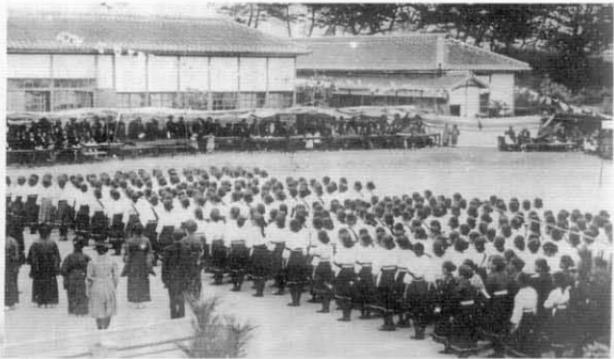
唐津町池田ギンヨリビアノ（時價千百圓）香基寄附セラル。



音楽会（「まつら」より 大正11年12月28日発行）



展覽会（「まつら」より 大正11年12月28日発行）



運動会（「まつら」より 大正11年12月28日発行）



追悼祭（「まつら」より 大正11年12月28日発行）

## 記念事業

創立十五周年記念式舉行 大正十一年十一月五日より

三日間に亘り左記日程より朝野の名士、生徒、父兄、卒業生を招待して盛大なる記念式典を舉行せり。

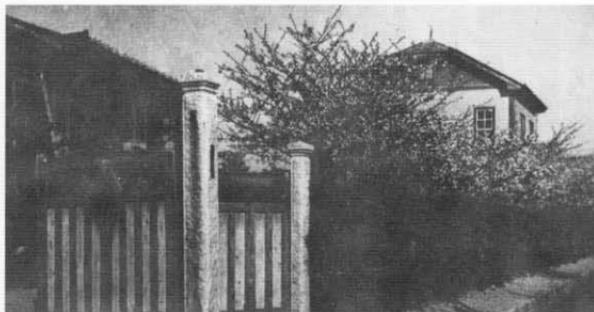
第一日 式典（十ヶ年以上勤続職員の表彰） 祝賀會

第二日 学芸品展覽會 音樂會

第三日 運動會



## 校舎の新築



唐津高等女学校

明治40年、司立唐津女学校として現県総合府舍地で発足、同41年坊主町に移転、大正9年県立唐津高等女学校となり、昭和23年唐津第二高等学校となり、昭和31年唐津西高等学校となり、嚴木分校併設、同36年嚴木分校は独立分離した。昭和52年町田地区に移転。写真は昭和初期。

宿泊修學旅行

從來生徒の宿泊旅行は絶対に行はざりし時勢の進運に伴ひ旅行擴張の必要を認め大正十一年度に於て初めて一泊の修學旅行を試み爾後毎年之行ふこと、なれり。

正十三年二月に至り全く竣工して校舎の完備成れり。

六月十九日  
正十三年二月に至り全く竣工して校舎の完備成れり。

但馬地方大震災救助義捐金ヲ送

ル 職員生徒奉拾圖。

第一回各學級學力比較試験ヲ行フ

(教科)。

朝鮮水害義捐金ヲ送

ル 職員生徒參拾圓拾五錢。

十月十一日  
九月二十五日  
十月三十一日  
十一月十七日  
十二月七日  
一月十一日  
一月二十一日  
三月一日

初メテ第四學年生引率近畿地方へ  
一週間ノ修學旅行ヲ行フ。  
第一回佐賀縣體育週間ニ付本日ヨリ  
向六日間體育衛生ニ關スル各種  
ノ施設ヲナス。

文部省督學官森岡常蔵氏來校二時  
間ニ瓦リ各學科教授ノ狀況ヲ视察

ス。

東宮殿下御成婚奉祝記念事業  
制服の變遷 裝置は凡て華美を避け質素を旨とし創立當時は綿服筒袖に駿茶袴を以て制服と定めしが明治四十一年四月高等女學校に組織變更と共に白線一本を織せる袴を着用せしむることに改定し、爾來十五五年之を制服と定めたるも時勢の進運は制服とし洋服着用を要求するに至りしかば大正十二年更に之が改定を行ひ和洋併用を許可し任意着用せしむること、せり。

記念園設置 皇室に關する記事及生徒自習用圖書

を購入し經費は創立十五周年記念事業の剩餘金と生徒醸金とを以て之に充て爾後毎年繼續事業とす

同年三月二十一日竣工す。

大正十五年

十二指腸蟲驅除ノ為本縣學校衛生

二月六日

主事小野寺健太郎來校同蟲ノ病害

及驅除ニ關シ講演ヲナス翌七日長

尾校醫ト協力第一回驅蟲投藥ヲ行

二月十一日

ヒ爾後第四回(三月五日)二テ結了。

一月十五日

式後學藝會ヲ催シ恒例ニ依リ社會

奉仕ノ端土シテ町内孤獨ノ貧弱

老人ニ生徒ノ仕立タル下着ヲ贈ル。

縣下高等女學校圖畫科教授聯合研究會ヲ開催ス。(翁善長・井囂記)

二月二十一日

教論中牟田要作病歿。

三月一日

各學年學力比較試験ヲ行フ(理科)。

三月十八日

第十七回卒業證書授與式ヲ舉行知  
事代理書記官大木俊輔臨席ス。卒業  
生八九名。

四月

第四學年生ニ限リ英語科ヲ選擇科  
目トス。

五月二十三日

軍艦陸奥乘組ノ海軍々樂隊一行ヲ  
聘シ、軍樂演奏ヲ開ク。

六月十日

李王殿下國葬當日ニ付訓話遙拜ヲ  
行フ。

六月十九日

生徒ノ校外監督ノ徹底ヲ期センガ  
為初ノタマ唐中、唐商ノ同校ト聯合協  
議會ヲ開ク。

六月廿九日

村上禮太郎新設ノ本校齒科醫ヲ頒  
行フ。

七月七日

助手(生花教諭)毛利蘋應死亡ズ。  
桑原織衛本校監督職託セラル。

八月二十一日

最初ノ自轉車通學帽出ノ生徒(第一  
學年坂本はる)ニ對シ許可ス。

八月三十一日

本日ヨリ二日間第四學年生ノ保護  
者會を開ク。

九月十五日

長賀天皇奉親告祭當日ニ付講話  
ノ後休業ス。

十月二十一日

佐賀縣知事時永浦三初メテ巡視ノ  
為臨校ス。

十月二十二日

發明家佐賀郡巨勢村眞崎照彌君表  
旌碑建設費トシテ職員生徒一同ヨ

十一月十四日

賀陽宮恒憲王殿下御來唐ニ付職員  
生徒一同奉迎ス。

十一月十九日

陸軍特別大演習御統裁ノ御名代開  
院宮斎仁王殿下御迎送ノ為全生徒



記念館



修学旅行（京都清水寺）



当時の職員（昭和5年）

**牲犠き尊**

少年少女を救ひ  
遂に水に溺る

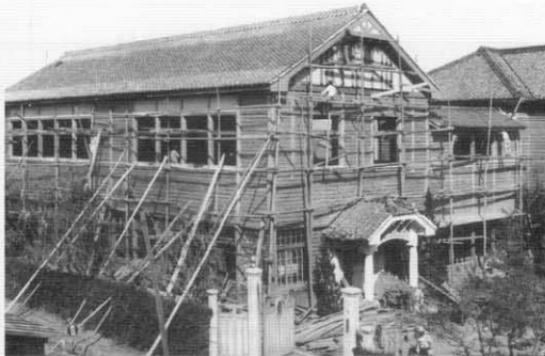
中尾ハナ子娘の美談

縣立唐津高女四年生

東洋紡織立場主吉田高女四年生が、水没して溺死した。中尾ハナ子娘は、彼女を救ひ、蘇生させた。

中尾ハナ子娘の美談

中尾ハナ子娘の美談



増築中の裁縫教室



本館玄関



高女生の遠泳

西の浜での水泳訓練の仕上げは、浜より約500mの鳥島までの片道の遠泳で、大半の者が参加し泳ぎました。



昭和初期の水泳訓練

唐津高女は西の浜海岸沿いで、水泳訓練はプールではなく海浜で行われた。

八月十四日	新任知事大島破竹郎巡視ノ為臨校ス。
八月十五日	階段理科教室ヲ平面教室ニ模様替ス。
八月三十一日	内親王殿下御降臨（午前四時四二分）アラセラレタルニ付奉祝ノ為遙
九月五日	教諭夏秋源次校長事務取扱ヲ命ぜ
九月十日	校長中野才次依頼退職。
九月十三日	王遙拜式ヲ行フ。尚十六日御命名式當日
九月十四日	佐賀縣立鹿島高等女學校長黒土四郎。
三月八日	内親王殿下御降臨（午前四時四二分）アラセラレタルニ付奉祝ノ為遙
三月十二日	教諭夏秋源次佐賀縣立鹿島高等女學校長二補セラレ、教諭夏秋源次佐賀縣立鹿島高等女學校長二轉セラル。
三月十三日	大正天皇御一周年祭ツニキ遙拜式ヲ行ヒ訓話ラナス。
八月	校長黒土四郎神奈川縣立平塚高等女學校長兼神奈川縣立平塚高等女學校教諭ニ轉ジ、新潟縣立柏崎高等女學校長廣羽武雄本校校長二補セラル。
九月二十六、二十七日	久宮祐子内親王萬葉御ハサレタル二付訓話ノ後遙拜式ヲ行フ。
九月二十八日	第十九回卒業證書授与式舉行知事代社寺兵事課長笠富平太郎臨席ス。
九月二十九日	卒業生九四名。
九月三十日	久宮祐子内親王萬葉御ハサレタル二付訓話ノ後遙拜式ヲ行フ。
九月三十日	新庄知事來校視察。
九月三十日	保護者會開催。



本館正門



昭和初期の唐高女生ランニング姿



当時の職員（昭和15年）

## 後國民ノ誓詞

一、我等銃後國民ハ  
皇室ノ御隆昌ヲ祈念シ日本人タ  
ルノ光榮ヲ感謝シツ、益々大和魂ヲ鍛錬シ以テ  
聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ誓ヒマス

二、我等銃後國民ハ堅忍持久アラユル困苦缺乏ニ堪ヘ  
協心戮力團結ヲ固クシ以テ長期戰ニ備ヘソノ責務  
ヲ全ウゼンコトヲ誓ヒマス

三、我等銃後國民ハ大命ヲ奉ジテ勇奮激闘セラル、皇  
軍ノ武運長久ト名譽ノ戰傷病者ノ平癒ヲ祈願シ戰  
歿者ノ英靈ニ感謝ノ誠ヲ捧ゲマス

銃後國民の誓詞



野菜品評会  
競時の初期は家庭菜園が奨励され、女学生も自作の野菜を学校の品評会に出品した。写真は昭和14年頃。

九月二十九日

地理科研究會開催。

十月十五日

御真影ヲ奉戴。

十一月十日

御即位式當日ニ付拜賀式ヲ舉行。

十一月二十一日

校舍増築二對スル寄附金六千円兼

十二月二十四日

子坂本西氏ト同伴縣へ納入。

十一月二十五日

御大典奉祝成績會開催。

十二月二十九日

校旗樹立式舉行。

二月二十三日

福葉督學官來校視察。

二月二十四日

公演講座ヲ西唐津小學校ニ割烹満

三月六日

鳥小學校二於テ裁縫ヲ開ク。

三月十一日

校長室・職員室等の四室一棟増築

三月二十一日

同窓会・校友会協力大典記念館建

四月六日

設（旧校舍圖書館二階上下）。

四月十一日

創立三十周年記念裁縫室増築（昭四

四月二十一日

中尾ハナ表彰状伝達式慰靈祭舉行

四月二十一日

寄宿舍廻止。

四月二十一日

校歌（後の宮）制定。

四月二十一日

專修科を補習科に昇格。

四月二十一日

創立三十周年記念裁縫室増築（昭四

四月二十一日

陸上）。

四月二十一日

まつら第一〇号発刊以後廃刊となる。

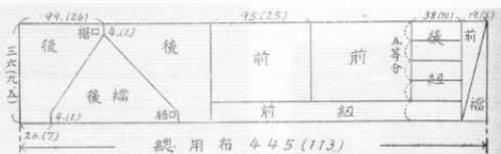
四月二十一日

定員増加一年四学級募集となる。

三月二十一日

創立三五周年誌発刊。

## 二 裁ち方



◇備考 (1)記入寸法の単位……粋(寸)としました。

(2)もんべ丈は着用者の体格(身長)及好みに依つて寸法を斟酌し定める事です。

(3)肥った人又は幅懶き(腰深くなる)を好む人は前布で前紐をかがぬ事。

(4)継は別布にてもよろしいのです。

(5)本裁であれば両身頃と衿で出来ます。

## 三 縫ひ方

(1)前襟合せ

19. (5.) のところを左右縫ひ合せて縫ひ代は隠継で抑えます。

(2)前・後・の縫合せ

後襟の直真ぐな方の中央と前襟の縫目とを合せて縫つたら折りを前襟へ返して隠継をします。

(3)前身と襟の縫合せ

後襟の裾口と前身の裾口とを合せ、前襟の三角の山と前身の股上止りとを合せ、裾口から縫ひ上つて前身の方へ折りを返へし隠継をします。

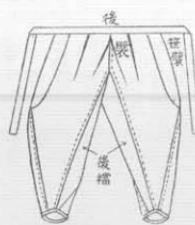
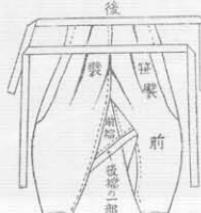
(4)後身と後襟の縫合せ

後身及び後襟の各々斜に裁つた處を合せて縫ひ、折りを後身にかへして隠継をします。

(5)前・後・股上の縫ひ方

1. 前・後・共に股上の縫ひ合せ(各々左右を合せる)折りを右脚の方へ倒して隠継をします。

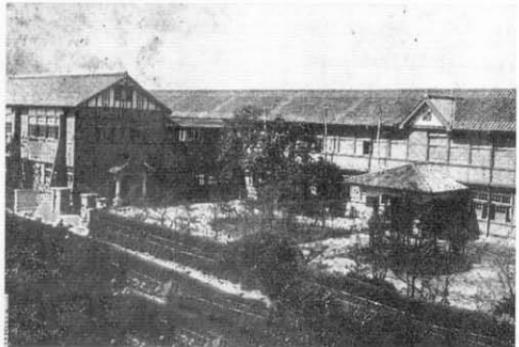
2. 後股上縫代は5.(1.3)となります。左脚の縫代を開いて隠し継じ(着物脇縫始末の様に)をなし、下の方を三角に折り込んで周囲を術けつけます。(居敷當代用をします)



婦人もんべの作り方 裁縫科(原文を左からの表記で記載)



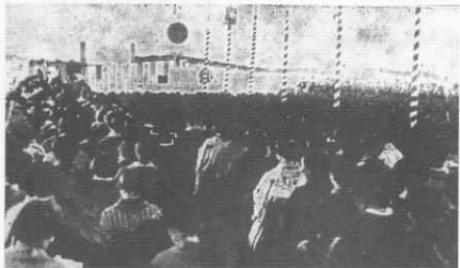
当時の職員 (昭和17年)



校舍全景



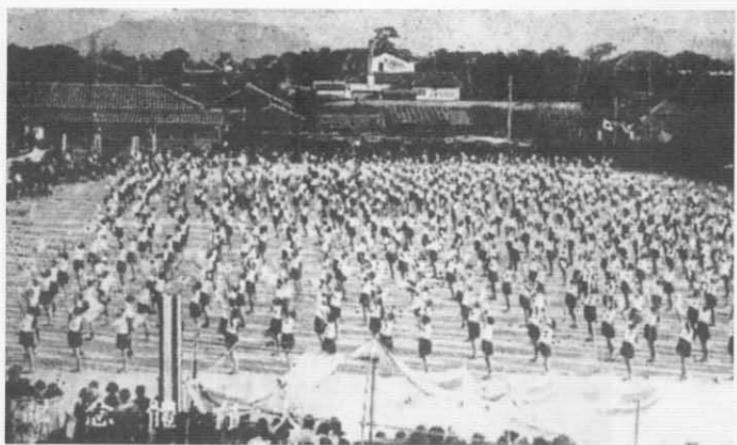
創立35周年記念誌表紙



35周年記念並校舍改築落成式式場



慰靈祭式場（於近松寺）



記念體育大会



展览会場（其ノ一）



展览会場（其ノ二）



防空訓練



錄成（報國農場馬鈴薯收穫）

創立五十三周年改組式典日程

十一月七日（金）第一日	明治十六年 記念落成式 （於校庭）
十一月八日（土）第二日	水年勤務員表彰式 （講堂、宿天室作法室休
十一月九日（日）第三日	（於本館）午前十時
至自午前三時半	正午四時半
至自午後三時半	午後九時

式典落成式  
式典年明治五十三周年

日七月一十年六十和昭

五	三	一	生徒同生勤務員者
六	四	二	父兄同生勤務員者
七	五	三	長官開會
八	六	四	五長官開會
九	七	五	六城代敬
十	八	六	七長官開會
十一	九	七	八城代敬
十二	十	八	九長官開會
十三	十一	九	十城代敬
十四	十二	十	十一長官開會
十五	十三	十一	十二城代敬
十六	十四	十二	十三長官開會
十七	十五	十三	十四城代敬
十八	十六	十四	十五長官開會
十九	十七	十五	十六城代敬
二十	十八	十六	十七長官開會
廿一	十九	十七	十八城代敬
廿二	二十	十八	十九長官開會
廿三	廿一	十九	二十城代敬
廿四	廿二	二十	廿一長官開會
廿五	廿三	廿一	廿二城代敬
廿六	廿四	廿二	廿三長官開會
廿七	廿五	廿三	廿四城代敬
廿八	廿六	廿四	廿五長官開會
廿九	廿七	廿五	廿六城代敬
三十	廿八	廿六	廿七長官開會
卅一	廿九	廿七	廿八城代敬



鍊成（麥刈奉仕）





唐津高女の耐寒競争

昭和13年頃から丈夫な母体育成が女子教育の主要とされ、唐津高女では冬季になると、校庭から浜崎までの耐寒競争が年中行事とされ、以来戦時中毎年実施された。今もこの事に思い出のある中年以上の人が多い。写真は昭和13年冬の耐寒競争。



旗行列

昭和12年、日華事変は中国全土に拡大され、日本軍は中国の主要な都市を次からつぎへと占領した。そのたびごとに、戦意昂揚のため、唐津市内で青少年は動員され、日の丸の小旗を手に打ち振り、軍歌を歌い市内を廻った。写真は南京陥落時の、大手口を通る唐津高女の旗行列。



竹槍訓練の女学生

昭和18年になると空襲が激しくなり、本土決戦が現実のものと考えられた。「一億国民火玉」の標語のもとに、女学生や婦人までが竹槍訓練に参加した。



慰問袋をつくる女学生

昭和12年日華事変がおきて以後、慰問袋を戦地の兵隊に送るのは其後の務めとして常時行われた。唐高女でも、戦争が拡大するとともに、その回数が増えた。しかし昭和16年以後は慰問袋に入れる物資も欠乏して、慰問袋を作るのさえまことにあらぬようになった。写真は昭和15年頃。

昭和十八八年】  
四月  
【昭和二十二三年】

補習科を専攻科とする。

四月  
六・三制施行 専攻科廢止

在学し一年生なし。  
五年生

九月三日付の「佐賀新聞」には「勤労即教育を顕現、佐賀県第三次学徒動員計画成る」として、各中等学校などの担当工場を次のようにあげている。

佐賀中学（大日本化學）、小城中学（日東航機）、鹿島中学（第二十一空廠）、唐津中学（大日本航機）、三養基中学（日清製粉）、武雄中学（杵島、龍谷中學（川南）、鹿島立教（第二十一空廠）、唐津商業（唐津鐵工所）、佐賀工業（内田）、有田工業（岩屋）、鳥栖工業（第二十一空廠）、佐賀高女（戸上）、鹿島高女（川棚）、唐津高女（大日本航機）、武雄高女（香蘭社）、小城高女（日東航機）、伊万里高女（岩屋）、鳥栖高女（太刀洗）、神崎高女（片倉製糸）、成美高女（大和紡績）、清和高女（三菱兵器）、佐賀実女（日東航機）、鳥栖青年学校（片倉製糸）、小城青年学校（大和紡績）、有田青年学校（岩屋）、武雄青年学校（大阪特殊鋼）、東山代国民学校（大伊万里）、神陽学館（日華ゴム）

この割りあては、学校によつては一部変更があつたようだ。龍谷中学は川南造船所となつてゐるが、四年生は浦の崎（川南）造船所、三年生は南風崎での土木工事、二年生は戸上電機であつた。五、四年生はのち佐世保の海軍工廠へ、三年生は佐世保の日字に転属している。一年生は、市内の家屋疎開作業に従事した。

この時、学徒の受け入れ側に要望事項としてださ

れた点は次の七点であつた。

- 一、心身の発達を図り、保健に留意すること。
- 二、県内動員においては、通勤を原則にすること。
- 三、作業は一日八時間とし、その間食事、休憩に各一時間を与えること。残業は一ヶ月に十日以内とし、深夜業は認めない。又、休日は月四回設けること。
- 四、国民学校児童の動員に当つては、青少年団單位、又は学校単位の隊組織とすること。
- 五、保健衛生に関しては、特別の注意を払うこと。
- 六、保護者並に受入者は、処置に十分留意し、学生として安じて勤労に挺身せしむる様、適切な方途を講ずること。
- 七、動員学徒をして皇國勤労觀に徹せしめること。

学徒勤労動員に出勤した生徒たちは、たゞ勤労するのみにならず、引率の教師による「工場成績」が評価された。昭和十九年九月十二日より翌十年八月二十一日まで大和紡績佐賀工場に勤労動員された成美高等女子校の生徒は、縫製部（縫上、織布、梳綿、練縫、精紡、裁断）、織維部（梳錠保全、初紡、打綿、精紡、ローラー、仕上）、織機部（織布保全、織布部準備、検査）に分かれて勤労に従事した。成績は出欠状態と、秀、優、良、可、不可の五段階評価され、例えば「優、真剣ナル作業振ナリ。生活態度極メテ良シ。総合力実踰力ニ富ム。」などと表わされた。

佐賀高等学校においては、昭和十九年五月から三年生が川南造船所へ。同年七月から二年生が長崎造船所へ。学徒の受け入れ側に要望事項としてださ

船所へ学徒動員された。一年生は十一月に稲刈作業のため県下各地に動員されていった。

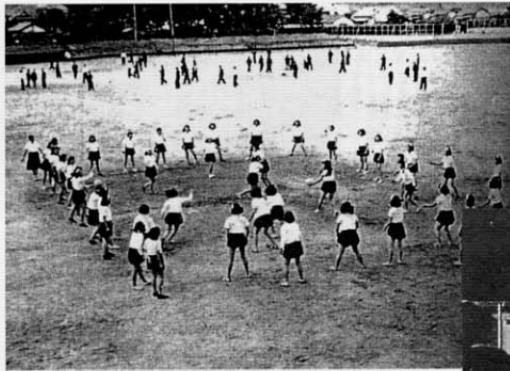
「学徒勤労令」によつて、県内及び長崎県へと勤労動員された学徒たちの中には、終戦まで男女学徒一二六人が犠牲となり、四六人が生涯傷を負つた。

## 唐津高女4年生

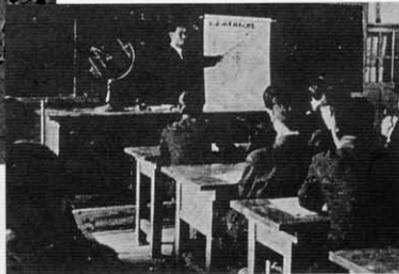
祭城 一子（相加町）

学徒動員

和多田の飛行機工場で四年の古賀さん作業中に事故死



青春の躍動（昭和28年）



校内スナップ（昭和30年）



男生徒は何处へ！（昭和28年）



校内スナップ（西校舎）（昭和30年）

## 学校の沿革

## 社会情勢

昭和二十四年

昭和二十三年

四月

一月

綜合男女共学となり旧唐一  
高、旧唐二高を合併して唐津  
高等学校と改称。旧一高を東

ビルマ独立、帝銀事件。  
ガンジー暗殺。

西校舎（金日一三年）旧一高を東  
西校舎（金日一三年）家庭科（二三

月内閣成立。

中学校廢止、副校長制を置く。

国連、世界人権宣言採択。

年定期・通信』とする。併設

東京裁判判決。

六月 定時五〇名。

NATO発足。

十月 校章・バッジ制定。

中ソ同盟相互援助条約調印。

十二月 職員住宅三戸PTAにて建

理学賞。

四年 一年生入学定員五六〇名（全

朝鮮戦争勃発。

昭和二十五年

七月 下山事件、三鷹事件。

十一月 湯川秀樹博士にノーベル物

ノーベル賞。

昭和二十六年

四月 NATO発足。

十月 職員住宅一戸振興会にて建

設。

四月 岐木分校設置。（定期制一年

朝鮮戦争勃発。

昭和二十六年

二月 中ソ同盟相互援助条約調印。

十月 職員住宅一戸振興会にて建

設。

四月 職員住宅三戸PTAにて建

設。

昭和二十六年

二月 中ソ同盟相互援助条約調印。

十月 職員住宅一戸振興会にて建

設。

【昭和二十七年】  
四月 家庭科設置、西校舎におく  
（定員八〇名）本校定期制募  
集停止、通信教育佐高移転。

五月

日米行政協定調印。  
エリザベス英女王即位。

六月

講和・安保両条約発効。  
血のメーテー。

七月

日米行政協定調印。

八月

第一回原水禁世界大会。

44

【昭和二十八年】  
四月 定員増加（普通科五七〇名  
となる）生徒配属を次のように  
にする。進学希望者普通科  
二・三年を東校舎」、一般教  
養及び就職希望者及び家庭  
科全部を西校舎」おく。一年  
は志望別にせず東西に一分す  
る。

五月

【昭和二十九年】  
三月 スターリン・ソ連首相死去。

四月

【昭和二十九年】  
五月 鳩山派、自由党結成。

六月

【昭和三十年】  
七月 ピキニ諸島、水爆で被災。

八月

【昭和三十年】  
九月 東欧八ヵ国、ワルシャワ条  
約調印。

十月

【昭和三十年】  
十一月 鳩山内閣成立。

十二月

【昭和三十年】  
一月 ジュネーブで戦後初の英米  
仏ソ東西首脳会談。

二月

【昭和三十年】  
三月 第四棟理科室増改築、放送  
室新築。

四月

【昭和三十年】  
五月 西校舎体育館横の通り廊下  
新築。

六月

【昭和三十年】  
七月 新民党結成。

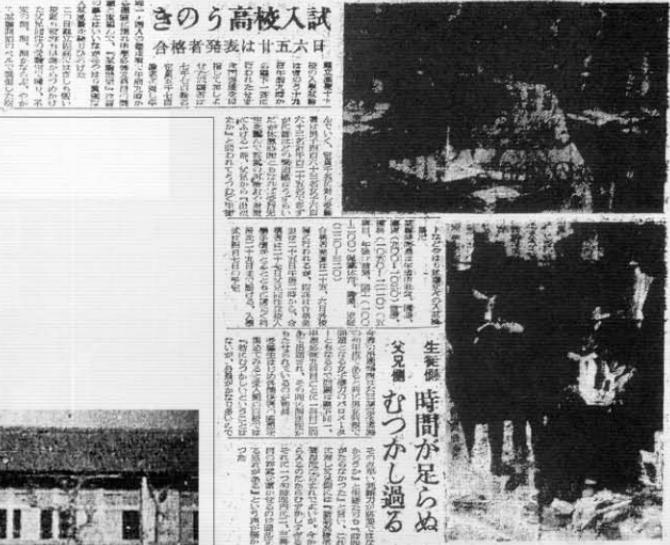
八月

【昭和三十年】  
九月 第一回原水禁世界大会。

十月

【昭和三十年】  
十一月 第一回原水禁世界大会。

十一月



校内スナップ 今日のけいこもすみました (昭和30年)



スナップ集 無念無想の小春日和（昭和31年）

年	月	日	天候	気温	記録
18	7	21	晴	18.0	万葉
19	7	22	晴	11.0	6 B+30
20	7	23	晴	7.4	-1 B+37
21	7	24	晴	12.3	-1 B+02
22	7	25	晴	12.8	-2 B+18
23	7	26	晴	12.2	-3 B+18
24	7	27	晴	12.2	-3 B+18
25	7	28	晴	12.2	-3 B+18
26	7	29	晴	12.2	-3 B+18
27	7	30	晴	12.2	-3 B+18
28	7	31	晴	12.2	-3 B+18
29	8	1	晴	12.2	-3 B+18
30	8	2	晴	12.2	-3 B+18

— トドケ 朝日新聞社編「朝日新聞天気図」

■ 日記

本日は、朝日新聞天気図を見ながら、天気予報を読む。天気予報によると、明日は晴れで、気温は18度前後となる。しかし、天気予報の下には、「晴」という字が複数回現れる。これは、何を意味するのか?

■ 天気図

天気図を見ると、日本列島の上に「晴」という字が複数回現れる。これは、何を意味するのか?

■ 気象台

気象台では、天気予報と天気図を比較して、天気を予測している。天気予報によると、明日は晴れで、気温は18度前後となる。しかし、天気予報の下には、「晴」という字が複数回現れる。これは、何を意味するのか?

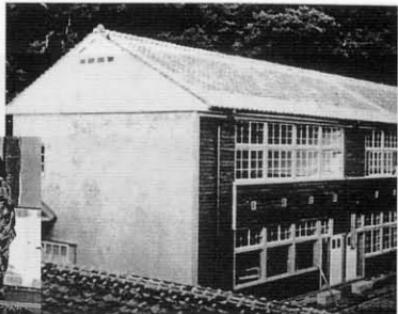
佐賀新聞 昭和26年3月26日付

この記事は、佐賀新聞の天気予報欄からの抜粋です。天気予報によると、翌日の天気は晴れで、気温は18度前後となる。しかし、天気予報の下には、「晴」という字が複数回現れます。

この現象は、天気予報の誤りか、天気図の誤りか、それとも天気予報と天気図の間に矛盾があるのでしょうか?



文化祭（昭和31年）



（昭和28年）



鳥合の衆（昭和29年）



体育祭（昭和31年）

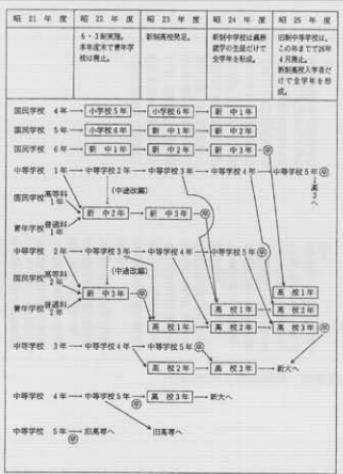
### 1.六・三・三・四制の導入

いわゆる「戦時特例」は、「中等学校令」が終戦により昭和21年2月に改正されて、修業年限は5年に戻った。昭和17年の入学者は、昭和21年3月に4年卒業（同窓会名簿では唐中47回）と昭和22年3月に5年卒業という二つの型に分かれた。昭和18年の入学者は5年制で卒業した。

昭和22年度当初から実施された、「教育基本法」と「学校教育法」は戦後の学校教育の基本法制であるが、旧制の中等学校の入学試験は昭和21年の入学者まで実施されている。

二法に基づく六・三制の実施・進行に合わせて昭和22年度は入学者の募集が停止されたのだがその当時の在学者は、旧中生、新中生（併設中学校）、新高生が混在していたことになる。外地の中等学校から学年をおくらせて転入した者、国民学校卒業で併設中学校に編入した者、軍関係の学校等から復帰した者等も少なからぬ数であった。

次に示す図表は、この時期の一般的経緯を示すもので、「佐賀県教育史」から引用した。



あがったぞッ

## きのう高校入試合格発表

県下高校廿二校に  
應高西と應野分校が独立

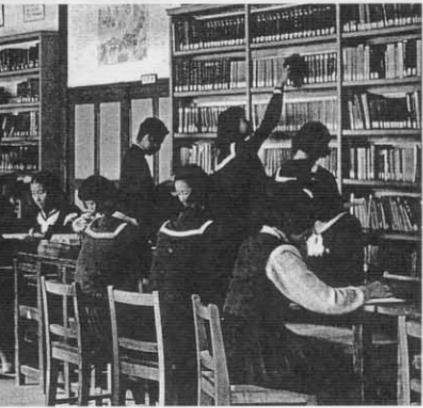
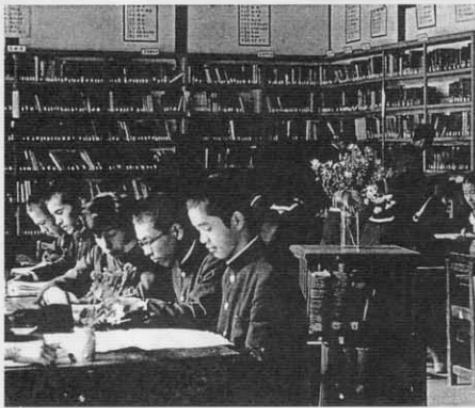
應高西と應野分校が独立

三十一年三月二十日は、應高西の生徒たる大喜びの日。何よりも喜ばしいのは、この日、應高西と應野分校が独立したことです。これによって、應高西は、應高の前身として、應野分校は、應高の末裔として、それぞれ独立して活動するようになりました。

佐賀新聞 昭和31年3月22日付



校内スナップ 何を読んでいるのでしょうか? (昭和29年)



不如学 (昭和28年)



グラウンドから眺めた校舎（昭和36年）



図書館（昭和36年）

## 学校の沿革

## 社会情勢

【昭和三十一年】

【昭和三十一年】

四月 唐津西高等学校として発足（唐津高等学校を東西に分離独立）

十月 砂川事件。（十五日）

五月 全日制普通課程（二二〇名）家庭課程（八〇名）定時制蔽木分校・善・商・家設置。

十一月 日ソ国交回復。

六月 第十六回五輪メルボルン大会開催。

十二月 国連加盟実現、石橋内閣成立。

七月 校章・バッジ制定。

十一月 「昭和三十二年」

八月 運動場拡張工事開始。

一月 「昭和三十二年」

九月 定時制蔽木分校商業科募集停止。

一月 「昭和三十二年」

十月 止。（普通課程五〇名、家庭課程五〇名）

一月 南極・昭和基地開設。

十一月 動場完成。

二月 岸内閣設立。

一二月 創立五〇周年記念式典挙行

三月 「東海村に「原子の火」。安保理非常任理事国当選。

一二月 記念誌発行、校歌制定発表。

八月 ソ連、世界初の人工衛星打ち上げ。

四月 創立五〇周年記念式典挙行

五月 「昭和三十三年」

六月 全日制員増員。（普通課程二五〇名、家庭課程一〇〇名）

六月 インドネシアと和平条約賠償協定に調印。

七月 宿直室改築（県）西側女子便所新築完成。（市町村・振興会）

八月 米原潜ノーチラスが潜航のまま北極点通過。

八月 日米安保改定交渉へ。



唐津の海（昭和36年頃）



ソフトボール部（昭和36年 卒業アルバムより）



ソフトボール部（昭和31年 卒業アルバムより）



女子バレー部（昭和36年 卒業アルバムより）



男子バレー部（昭和36年 卒業アルバムより）

学校の沿革	社会情勢
【昭和三十三年】	【昭和三十四年】
十一月 音楽室新築完成（同窓会）	一月 ソ連、月口ケット打ち上げ。
十六日落成式行わる。	二月 テニスコート完成。（唐津鉄工所土地借用）
【昭和三十四年】	三月 〔昭和三十五年〕
【昭和三十五年】	一月 音楽室新築完成（同窓会）
二月 テニスコート完成。（唐津鉄工所土地借用）	二月 毛沢東国家主席辞任、後任。
普通教室（四）新築。（振興会及県）	三月 皇太子様（）結婚。
【昭和三十六年】	四月 〔昭和三十五年〕
嚴木分校独立	一月 日米新安保条約、行政協定調印、民社党結成、三池争議。
【昭和三十七年】	二月 東西首脳会談パリで開く。
八月 「風流夢譚」で鶴中事件。	五月 東米ソ首脳、ウイーンで会談。
東独がベルリンに「東西の壁」を建設。	六月 「風流夢譚」で鶴中事件。
【昭和三十七年】	八月 原水禁世界大会分裂。



クラス集合写真（昭和36年 卒業アルバムより）



演劇部発表会（昭和36年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和36年 卒業アルバムより）





体育祭（昭和37年）



文化祭（昭和37年）



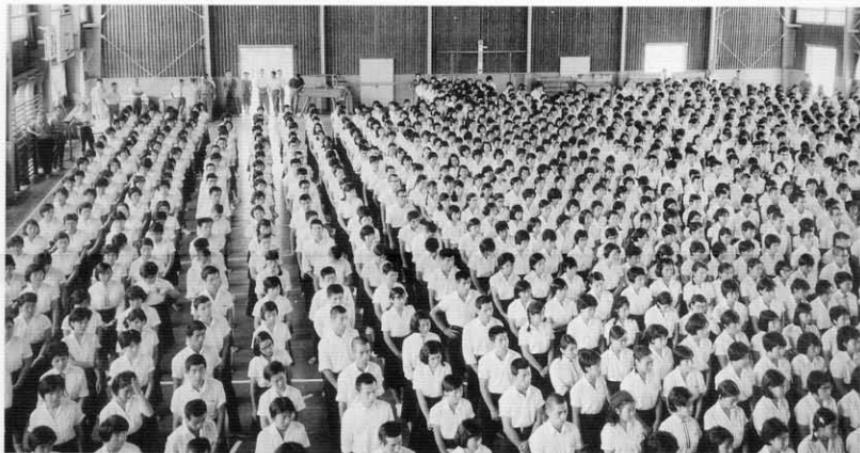
クラスマッチ（昭和38年）



掃除の時間（昭和38年）



良かこはなかですか？



生徒集会（昭和38年）



図書館（昭和38年 卒業アルバムより）

学校の沿革	社会情勢
	【昭和三十八年】
四月 定員増加。（普通科三三〇名、家政科二一〇名）	【昭和三十八年】
十一月 体育館新築。（県市町村振興会）一日落成式。ステージ緞帳式寄贈。（同窓会）	十一月 ケネディ米大統領、ダラスで暗殺。
昭和三十九年	【昭和三十九年】
四月 講堂を普通教室二に改造、体育館への渡り廊下及便所シャワー、倉庫完成。	十一月 東海道新幹線開通。佐藤内閣成立、公明党結成。
昭和四十一年	【昭和四十一年】第十八回五輪東京大会開催。
四月 定員減少。（普通科三二二名、家政科一〇四名）	二月 原水禁結成。
昭和四十二年	【昭和四十二年】米軍機の北ベトナム爆撃開始。
十月 旧講堂（改築教室二）解体、プレハブ普通教室二完成。	六月 日韓条約調印。
定員減少。（普通科三〇六名、家政科一〇二名）	七月 米マリナー四号、火星を撮影。
校旗制定。（同窓会寄贈）	十月 朝永振一郎博士にノーベル賞。
	一月 インド首相にガンジー女史。
六月 アジア太平洋協議会（APS）設立。	【昭和四十二年】
十月 ベトナム反戦統一スト。	六月 第三次中東戦争（六日間）。



弓道部（昭和41年 卒業アルバムより）



野球部（昭和41年 卒業アルバムより）



調理実習（昭和41年 卒業アルバムより）



花を育てよう（昭和41年 卒業アルバムより）



下校風景（昭和41年 卒業アルバムより）



高体連（昭和45年 卒業アルバムより）



タイプ部（昭和45年 卒業アルバムより）

## 学校の沿革

【昭和四十三年】

四月 定員減少。普通科二九四名、

家政科九八名)

【昭和四十四年】

三月 唐津市町田、新校地費買

收。（三五・一〇・一・七六四）

【昭和四十五年】

四月 定員減少。（普通科二八二名、

家政科九四名）

【昭和四十六年】

三月 定員減少。（普通科二七六名、

家政科九二名）

【昭和四十七年】

四月 唐津市町田、新校地排水溝工事。

【昭和四十八年】

四月 定員減少。（普通科二七〇名、

家政科九〇名）

【昭和四十九年】

四月 定員減少。（普通科二七〇名、

家政科九二名）

【昭和五十一年】

四月 大阪で万国博覧会、新日鉄発足／日船より島乗つ取り事件。

【昭和五十二年】

五月 三島事件。

【昭和五十三年】

六月 沖縄返還協定調印。

【昭和五十四年】

七月 井庄一発見。

【昭和五十五年】

五月 連合赤軍あさま山莊事件。

【昭和五十六年】

二月 沖縄返還。

## 社会情勢

【昭和四十三年】

六月 小笠原返還。

十月 川端康成にノーベル賞。

【昭和四十四年】

十一月 三億円強奪事件。

【昭和四十五年】

五月 東名高速道路全線開通。

七月 米アボロ一号、月面着陸。

【昭和四十六年】

三月 三島事件。

【昭和四十七年】

六月 グアムで生き残り日本兵横

【昭和四十八年】

七月 井庄一発見。

【昭和四十九年】

五月 連合赤軍あさま山莊事件。

【昭和五十一年】

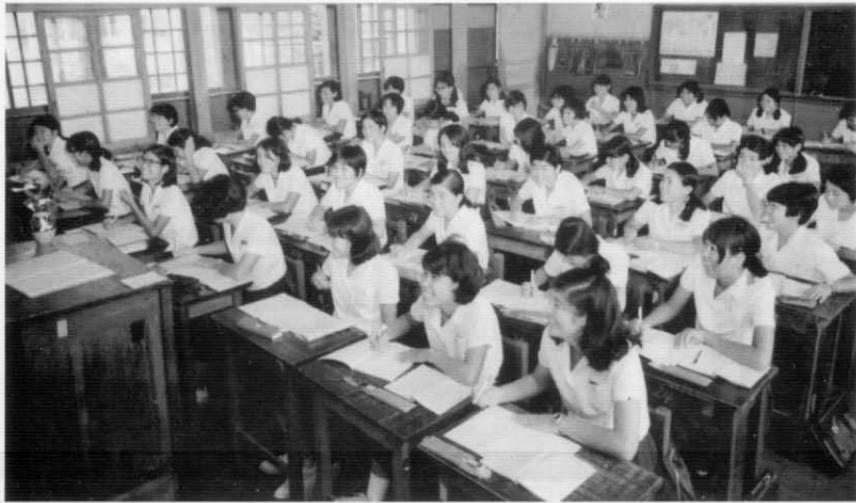
五月 沖縄返還。

【昭和五十二年】

七月 井庄一発見。

【昭和五十三年】

五月 連合赤軍あさま山莊事件。



授業風景（昭和45年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和45年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和45年 卒業アルバムより）



書道部合宿（昭和45年 卒業アルバムより）



クラスマッチ（昭和46年 卒業アルバムより）



試験の風景（昭和46年 卒業アルバムより）



クラスマッチ（昭和46年 卒業アルバムより）



鏡山登山（昭和46年 卒業アルバムより）



運動会（昭和46年 卒業アルバムより）



写生大会（昭和46年 卒業アルバムより）



修学旅行（昭和46年 卒業アルバムより）



生徒会本部（昭和46年 卒業アルバムより）



タイプ部（昭和46年 卒業アルバムより）



珠算部（昭和46年 卒業アルバムより）



表彰式（昭和47年 卒業アルバムより）



七夕（昭和47年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和47年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和47年 卒業アルバムより）



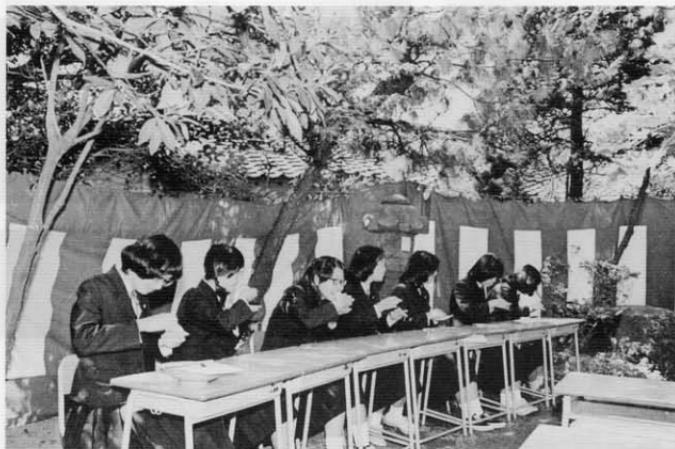
調理実習（昭和47年 卒業アルバムより）



調理実習（昭和47年 卒業アルバムより）



体操部（昭和47年 卒業アルバムより）



お茶会（昭和48年 卒業アルバムより）

学校の沿革	社会情勢
【昭和四十八年】 三月 ブレーハブ教室（一室）増築。 （八五坪）現校舎建設用取付 道路完成。	【昭和四十八年】 八月 金大東京でら致。
四月 普通科一学級増。（四五名） (普通科三二五名) 家政科 九〇名)	第四次中東戦争。（十月 二十二、終結） 江崎玲於奈博士にノーベル賞
五月 現校地整地工事着工、第二 排水工事、五十年三月完成。	昭和四十九年 国際石油資本五社、原油の 供給削減、石油危機深刻化。
六月 ブレーハブ教室（二室）増築 （六四坪） 【昭和五十二年】 現校地整地工事完了。	十月 昭和五十年 江崎玲於奈博士にノーベル賞
七月 天安門事件。	八月 金大東京でら致。
八月 沖縄海洋博開幕。	
九月 毛沢東中国主席死去。	
十月 福田内閣成立。	
十一月 インド総選挙、ガンジー大敗。	



文化祭（昭和48年 卒業アルバムより）



水泳（昭和48年 卒業アルバムより）



登校風景（昭和48年 卒業アルバムより）



女子テニス部（昭和49年 卒業アルバムより）



男子テニス部（昭和49年 卒業アルバムより）



美術の授業（昭和49年 卒業アルバムより）



ワンダーフォーグル部（昭和49年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和49年 卒業アルバムより）





授業風景（昭和49年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和49年 卒業アルバムより）



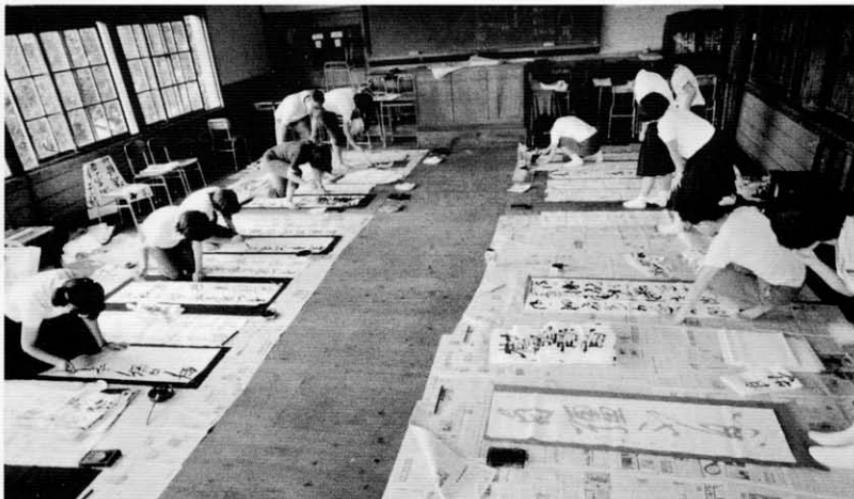
旧体育館内（昭和49年 卒業アルバムより）



水泳の授業（昭和50年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和50年 卒業アルバムより）



書道大会（昭和50年 卒業アルバムより）



調理実習（昭和51年 卒業アルバムより）



調理実習（昭和51年 卒業アルバムより）



ポンプ（昭和51年 卒業アルバムより）



掃除の時間（昭和51年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和51年 卒業アルバムより）

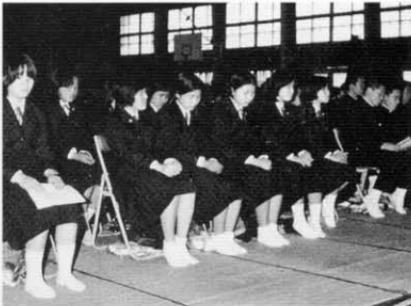


体育祭  
(昭和51年 卒業アルバムより)

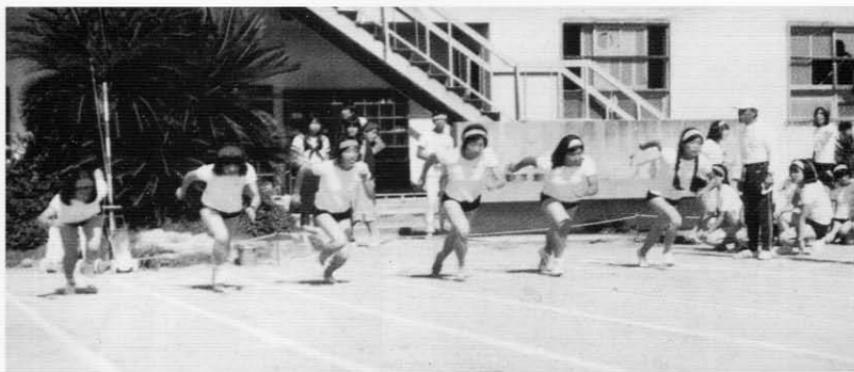
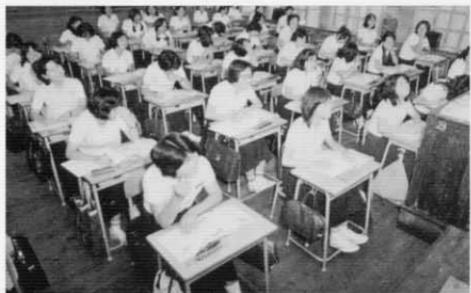




文化祭（昭和52年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和52年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和52年 卒業アルバムより）



旧校舎（昭和52年 卒業アルバムより）



旧体育館（昭和52年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和52年 卒業アルバムより）

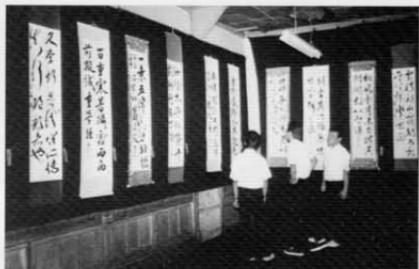




旧校舎（昭和53年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和53年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和53年 卒業アルバムより）

学校の沿革	社会情勢
【昭和五十三年】	【昭和五十三年】
現校地、教室棟、特別教室棟建築完了。	日中平和友好条約調印。
柔剣道場完成、二十四日現校地に移転至る。	十一月 大平内閣成立。
五月 まつら会館完成。	六月 東京で第五回先進国首脳会議開催。（一月二十九日）
十月 創立七十周年記念式典。	【昭和五十五年】
【昭和五十五年】	【昭和五十五年】
一月 藤芸小屋、弓道場完成。	大平内閣不信任案可決、総選挙へ。
二月 爰庫完成。	九月 イラン・イラク戦争本格化。
三月 校地整備（バッケネット・砂場）完成。	【昭和五十六年】
八月 定員減少。（普通科二七〇名、家政科九〇名）	一月 中国で江青、張春橋に死刑判決。
十二月 ブール完成。	四月 貨物船日昇丸が米原潜と衝突、沈没。
	十月 福井謙一教授にノーベル賞。



修学旅行（昭和53年 卒業アルバムより）



体育の授業（昭和53年 卒業アルバムより）



建設中の現校舎（昭和53年 卒業アルバムより）



ヨット大会開会式（昭和53年 卒業アルバムより）



ヨット部（昭和53年 卒業アルバムより）



おくんち（昭和54年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和54年 卒業アルバムより）



錦山登山（昭和54年 卒業アルバムより）



旧校舎の風景（昭和54年 卒業アルバムより）



登校風景（昭和55年 卒業アルバムより）



登校風景（昭和55年 卒業アルバムより）



昼食（昭和55年 卒業アルバムより）



下校風景（昭和55年 卒業アルバムより）



鏡山登山（昭和55年 卒業アルバムより）



修学旅行（昭和55年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和55年 卒業アルバムより）



高校野球（昭和55年 卒業アルバムより）



完成直後の現校舎（昭和55年 卒業アルバムより）



鏡山登山（昭和55年 卒業アルバムより）



創立70周年記念式典（昭和55年 卒業アルバムより）





双松祭（昭和55年卒業アルバムより）



登校風景（昭和57年卒業アルバムより）



現校舎全景（昭和57年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和57年 卒業アルバムより）



体育祭（昭和57年 卒業アルバムより）



文化祭（昭和57年 卒業アルバムより）



学校全景(昭和61年卒業アルバムより)

## 学校の沿革

## 社会情勢

	【昭和五十七年】	【昭和五十七年】
十月	坊主町跡地旧女学校、西高校室新築。	中曾根康弘第七十一代首相。○
【昭和五十八年】	【昭和五十八年】	【昭和五十八年】
三月	大韓航空機がサハリン上空でソ連戦闘機に撃墜される。	第二次中曾根内閣、新自由クラブと連立。
一月	校記念碑建立。	【昭和五十九年】
【昭和五十九年】	部室増築。	インド・イラ・ガンジー・イ
一月	校地整備。(バッケンネット増設)	ンド首相暗殺。
【昭和六十年】	八〇周年記念植樹。(登校道踏花壇造園)	【昭和六十一年】
三月	日航ジャンボ機、群馬県御巣鷹山に墜落し、四人生存、五二〇人死亡。	アキノ比大統領就任、マルコス亡命。
八〇周年記念植樹。(桺、同窓会)	【昭和六十一年】	【昭和六十一年】
十一月	創立八〇周年記念式典。	アキノ比大統領就任、マル
五月	東京で第十二回先進国首脳會議。	コス亡命。
【昭和六十二年】	三原山が大噴火。	
四月	国鉄分割・民営化発足。	



体育祭（昭和61年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和61年 卒業アルバムより）



授業風景（昭和61年 卒業アルバムより）

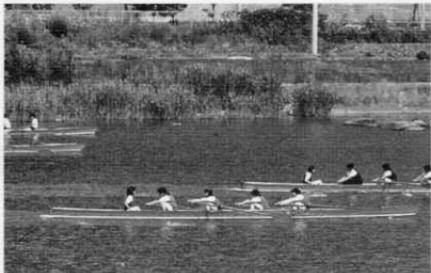


野球部 甲子園へ  
(昭和62年 卒業アルバムより)





授業風景  
(昭和62年 卒業アルバムより)



体育祭 (昭和62年 卒業アルバムより)



修学旅行 (昭和62年 卒業アルバムより)



高校総体壮行会（平成2年卒業アルバムより）

## 学校の沿革

## 社会情勢

**【昭和六十三年】**

**【昭和六十三年】**

十一月 現地（グラウンド用地）買収。

三月 青函トンネル開業。

**〔平成二年〕**  
（一一・九七五〇五四）

七月 東京湾で自衛隊潜水艦と釣り船第富士丸が衝突。

十二月 校地拡張造成工事開始。  
**〔平成元年〕**

一月 昭和天皇が逝去、皇太子明仁親王が即位、「平成」が施行。

十一月 第二グラウンド完成。  
**〔平成二年〕**

四月 消費税がスタート。

三月 定員増。（普通科二七六年、家政科九二名）

五月 中国の民主化運動、北京で百万人規模のデモ。

**〔平成元年〕**  
四月 C A I導入。

七月 ベルリンの壁崩壊。

**〔平成二年〕**  
十月 冷暖房機設置。（図書館他三室）

八月 イラク軍がクウェートに侵攻。

**〔平成三年〕**  
十一月 東西ドイツが統一、ドイツ連邦共和国が誕生。

一月 米軍など多国籍軍がイラク、クウェートの空襲開始、湾岸戦争地上戦に突入。

**〔平成三年〕**  
三月 体育倉庫増設。

四月 学科改編。（普通科三一五名、普通科六クラスに、普通科英語コース一クラス新設、家政科募集停止）

六月 露仙・普賢岳で大規模火砕流が発生。

一月 米軍など多国籍軍がイラク、クウェートの空襲開始、湾岸戦争地上戦に突入。



下校風景（平成2年 卒業アルバムより）



双松祭（平成2年 卒業アルバムより）



鞍山登山（平成2年 卒業アルバムより）



双松祭（平成2年 卒業アルバムより）



クラス集合写真（平成9年卒業アルバムより）



授業風景（平成9年卒業アルバムより）

## 学校の沿革

## 社会情勢

平成四年

平成四年

平成五年  
L・システム導入。  
家庭科閉科式。

平成五年  
参院選投票率、自民が改選議席を上回る六十九議席獲得。

平成五年  
一月  
定員増。（普通科三二〇名）

平成五年  
六月  
自民党を離党した羽田派が「新生党」結成。

平成六年  
四月  
教頭複数制配置校となる。

平成六年  
六月  
ニューヨーク外為市場で初めて「ドル＝百円」を突破。

平成六年  
五月  
一年生八クラス（普通科七クラス、英語コース一クラス）

平成六年  
七月  
新生党結成。

平成七年  
四月  
冷暖房機設置。（職員室）

平成七年  
一月  
阪神大震災、年末までに死者六千人を超える。

平成七年  
十一月  
管理産振株・体育館外壁改修。

平成八年  
三月  
都心の営団地下鉄で猛毒ガス、サリンがまかれて死者十人、被害者多数。

平成八年  
四月  
教頭複数制配置校となる。

平成八年  
一月  
ベルの首都、リマで武装ゲリラが日本大使公邸を占拠。

平成九年  
十一月  
管理産振株・体育館外壁改修。

平成九年  
三月  
中国の最高実力者、鄧小平が九十二歳で死去。

平成九年  
四月  
定員減。（普通科一八〇名）

平成九年  
八月  
太子妃が自動車事故で死亡。

平成九年  
五月  
一学年七クラス（普通科六クラス、英語コース一クラス）

平成九年  
十月  
創立九〇周年記念式典。

平成九年  
八月  
太子妃が自動車事故で死亡。

平成九年  
十月  
太子妃が自動車事故で死去。



調理実習（平成9年 卒業アルバムより）



調理実習（平成9年 卒業アルバムより）



調理実習（平成9年 卒業アルバムより）



授業風景（平成9年 卒業アルバムより）



カルタ大会（平成9年 卒業アルバムより）



双松祭（平成9年 卒業アルバムより）



錦山登山（平成9年 卒業アルバムより）



選択授業（平成9年 卒業アルバムより）

## 学校の沿革

## 社会情勢

【平成十年】

【平成十年】

一月  
冷暖房機設置。（通信室）

二月  
長野冬季五輪開幕、金五個を

四月  
定員増。（普通科三百二十名）  
一学年八クラス（普通科七  
クラス、英語コース一クラ  
ス）

六月  
日本が初出場のサッカーワ  
杯フランス大会開幕。

五月  
教頭一人配属校となる。  
【平成十三年】

六月  
長野冬季五輪開幕、金五個を  
含む史上最多のメダル獲得。

六月  
第一回五輪シンドニ一大  
会開幕、柔道の田村、女子  
マラソンの高橋らが金。  
【平成十二年】

九月  
第二十七回五輪シンドニ一大  
会開幕、柔道の田村、女子  
マラソンの高橋らが金。

四月  
一年生七クラス（普通科六  
クラス、英語コース一クラ  
ス）  
【平成十三年】

九月  
米中核同時テロ発生、旅客  
機二機がニューヨークのツ  
インターナショナルに突入。

【平成十三年】



鏡山登山（平成9年 卒業アルバムより）



授業風景（平成9年 卒業アルバムより）



双松祭（平成9年 卒業アルバムより）



クラスマッチ（平成9年 卒業アルバムより）



双松祭（平成9年 卒業アルバムより）



鏡山登山（平成9年 卒業アルバムより）



スキーリゾート修学旅行（平成14年 卒業アルバムより）



授業風景（平成14年 卒業アルバムより）



授業風景（平成14年 卒業アルバムより）

## 学校の沿革

## 社会情勢

【平成十四年】

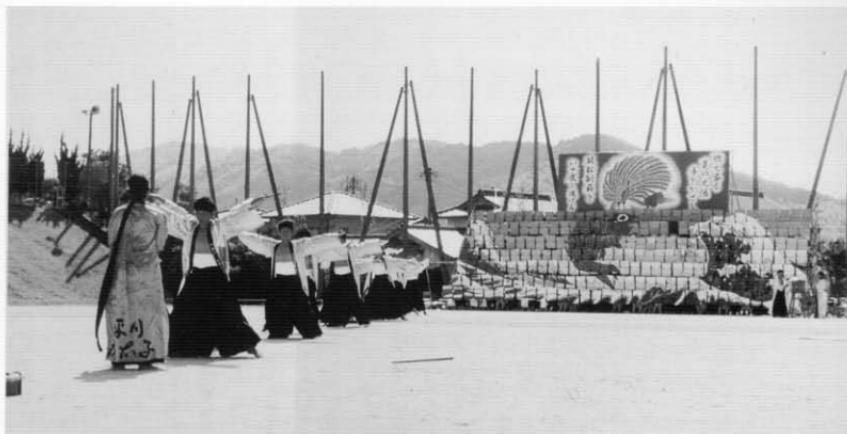
五月  
ソウルでアジア初の日韓共同開催のサッカーのワールドカップ（W杯）開会式。

八月  
住民基本台帳ネットワークが稼働開始。

九月  
小泉首相と北朝鮮の金正日総書記が初の日朝首脳会談。

一月  
【平成十六年】  
米航空宇宙局NASAの無人探査車「スピリット」が火星着陸に成功。

三月  
九州新幹線が鹿児島中央―新八代間で開業。



双松祭（平成14年 卒業アルバムより）



双松祭（平成14年 卒業アルバムより）

## 学校の沿革

## 社会情勢

【平成十八年】

SEL-H-i 研究校に指定

九月

特別教室棟改修工事

【平成十九年】

まつら同窓会より体育館綴

十一月

創立吉周年記念式典

百周年記念誌発行  
帳寄贈

【平成十七年】

尼崎のJR西日本脱線事故、  
百七人が死亡。

九月

衆院選で小泉自民党が歴史的大勝。

十一月

耐震强度の偽装で不安広がる。  
耐震强度の偽装で不安広がる。

【平成十八年】

トリンゴ五輪、フィギュア荒川静香選手が「金」。

二月

インドネシアのジャワ島でM6.8の地震、死者約七千人。

五月

北海道日本ハムファイターズ、四十四年ぶり日本一。

十月

エルニーニョ現象の影響で記録的な暖冬。

【平成十九年】

能登半島沖でM6.9の地震。

三月

七月  
基礎年金番号に統合されず  
宙に浮いた5千万件の記録  
が発覚。



県高校総体入場行進（平成14年 卒業アルバムより）



席替え（平成14年 卒業アルバムより）



野球部（平成14年 卒業アルバムより）



グラスマッチ（平成14年 卒業アルバムより）



グラスマッチ（平成14年 卒業アルバムより）



双松祭（平成14年 卒業アルバムより）



双松祭（平成14年 卒業アルバムより）



体育祭（平成18年 卒業アルバムより）



登校風景（平成14年 卒業アルバムより）



夏の学習会（平成14年 卒業アルバムより）



文化祭（平成18年 卒業アルバムより）



華道部（平成18年 卒業アルバムより）



書道部（平成18年 卒業アルバムより）



演劇部（平成18年 卒業アルバムより）



ヨット体験試乗（平成18年 卒業アルバムより）

ツ振興に幾許かの貢献ができたことを喜んでおります。

(二) 現在、佐賀県ソフトボール協会の顧問を務めていますが、自分の時間が自由に持てるようになったので、ここ十年間は白鷺短歌会と川柳塔社の会員として受け封じのため文芸活動をしております。

私が昨年七月に佐賀県知事賞を受けた短歌を紹介します。

この歌は唐津西高校に在勤中の入試の時の情景を詠んだ作品です。

「終了」のチャイムが鳴りて顔上げし子が微笑みぬほんの一瞬

(三) ここで皆さんに紹介したいことがあります。

坊主町の旧校舎に勤務していた教職員の会が「七夕会」として毎

年七月七日に開催されております。今年で第十八回になります。

私は第十二回から昨年の第十七回までお世話をさせて頂きました。

佐賀県内は勿論、全国的に珍しい会だと自負しております。

開宴の前に約三十分、文学のお話、人形淨瑠璃の鑑賞など会員に楽しんで頂いております。

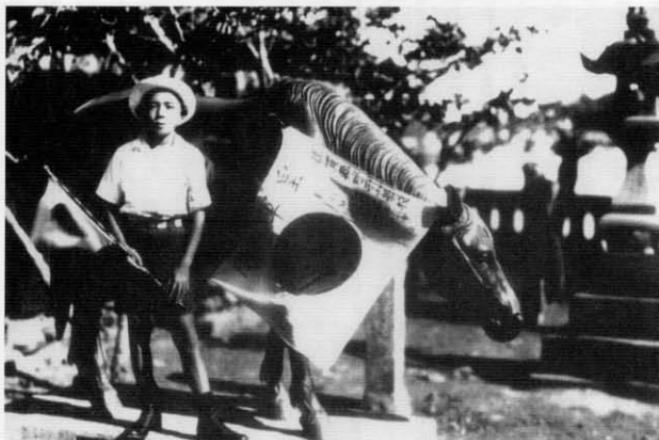
お互いに久闊を叙し近況を披露しながら、楽しく進行しますが最後は校歌「梅豆羅の里の歴史の跡」の大合唱で解散しております。

いつかは消滅する会です。会の終焉まで微力ながらお世話をするつもりです。

(四) 昨年八月、全く予兆なしに脳梗塞を発病、言語障害の機能回復のためのリハビリに週に一回、鏡の河畔病院に通っております。

過去、昭和五十七年にも腹下出血で、平成十一年には大腸ガンで手術を受けました。今度の脳梗塞と重篤で致命的な三つの病気を克服できたのは「自分で自分を褒めてやりたい」気持ちです。

この原稿のタイトルを「生かされて傘寿」としたのも、長い間お世話をなったことへの感謝の意を皆様にお伝えしたかったからです。









## 分掌

分掌区分と所属職員名 (○印は主任)

教 頭 松本	教務部 教務主任 (山下)	部 会 ..... ○飯、丸、瀧、山、鈴、野、原、村、野、原、山下、大島、渡邊、山口、金丸
		企画、行事、連絡、報告、記録 ..... ○
		時間割 ..... ○
		転出入 ..... ○
		教育課程 ..... ○
		教科書、教材 ..... ○
		奨学生 ..... ○
		教務特課、課題 ..... ○
		成績処理 ..... ○
		情報教育 ..... ○
校 長 竹森	生徒指導部 生徒指導主任 (副島)	視聴覚 ..... ○
		報表、諸表、統計、庶務 ..... ○
		特別活動 ..... ○
		人権、同和教育 ..... ○
		振興会 ..... ○
		部 会 ..... ○
		企画、運営 ..... ○
		バイク、自動車関係 ..... ○
		自転車 ..... ○
		アルバイト ..... ○
事務 長 森水	進路指導部 進路指導主任 (高橋)	拾得物 ..... ○
		制服 ..... ○
		登校巡回指導 ..... ○
		遅刻、欠席 ..... ○
		写真 ..... ○
		学年指導 ..... ○
		会員登録 ..... ○
		環境衛生 ..... ○
		生徒会企画運営 ..... ○
		生徒会涉外 ..... ○
事務 長 森水	保健部 保健主任 (池田)	生徒会会計 ..... ○
		部 会 ..... ○
		企画 ..... ○
		特講、土曜セミナー ..... ○
		各種テスト ..... ○
		文書、会計 ..... ○
		調査、統計 ..... ○
		パソコン係 ..... ○
		公務員 ..... ○
		就職 ..... ○
図書研修部 図書研修主任 (瀬戸)	図書教諭 (瀬戸)	総合学習 ..... ○
		総合 ..... ○
		専門 ..... ○
		小論文 ..... ○
		既卒者就職相談 ..... ○
		部 会 ..... ○
		保健教育 ..... ○
		保健(健康)管理 ..... ○
		安全、環境衛生 ..... ○
		食育 ..... ○
事務 部 古賀	事務主任 (古賀)	特別支援教育相談 ..... ○
		部 会 ..... ○
		選書 ..... ○
		企画 ..... ○
		広報 ..... ○
		管理庶務 ..... ○
		議論 ..... ○
		委員指導 ..... ○
		芸術鑑賞 ..... ○
		イングリッシュ・キャンプ ..... ○

学校評議員

職 員

職 名	氏 名	担当教科	担 当 ホームルーム	校 務 分 掌	部 活 動 顧 問
校 長	竹 森 唯 幸				
教 頭	松 本 裕 史				
事 務 長	森 永 文 治				
教 諭	山 下 康 孝	国 語		○ 教 務	演 剧 写 真
タ	吉 田 香	タ			
タ	久 田 修	タ	○ 2 年	生 徒 指 導 進 路 指 導 健 康 図 書 研 修	弓 道
タ	田 中 幸 樹	タ	3 - 6	進 路 指 導	ボ 一 ト
タ	舛 田 慈 美	タ			
タ	彌 富 公 成	タ	3 - 4	生 徒 指 導	演 剧
タ	下 田 華 世	○ タ	1 - 4	生 徒 指 導	弓 道 文 芸
タ	小 野 正 夫	地 歴 公 民			
タ	福 富 陽 子	タ		進 路 指 導	ボ ラ ン テ イ ア
タ	野 上 登 志 治	タ		教 務	バ ド ミ ン ト ン
タ	渡 邊 秀 一	○ タ		教 務	サ ッ カ 一
タ	森 博 子	タ		進 路 指 導	華 道
タ	福 本 竜 一 郎	タ	2 - 5	教 務	バ レ ー ボ ール
タ	熊 谷 正 実	数 学	○ 3 年	生 徒 指 導 進 路 指 導 指 導 保 健	サ ッ カ 一
タ	西 野 利 彦	タ	○ 1 年	生 徒 指 導 進 路 指 導 指 導 保 健 図 書 研 修	野 球
タ	本 山 初 雄	タ	1 - 3	進 路 指 導	卓 球
タ	佐 藤 啓 明	○ タ	2 - 2	保 健	バ ド ミ ン ト ン
タ	内 山 詞 文	タ	1 - 2	教 務	テ ニ ス
タ	黒 田 慎 一 郎	タ	3 - 5	保 健	テ ニ ス
タ	大 島 恒 平	タ		☆ 教 務	バ ス ケ ッ ツ ボ ール
タ	高 橋 篤 美	理 科		○ 進 路 指 導	理 科 陸 上
タ	松 野 正 彦	タ	3 - 1	教 務	剣 道
タ	池 田 淳	タ		○ 保 健	バ ド ミ ン ト ン
タ	田 中 佳 司	タ	1 - 5	保 健	ヨ ッ ト
タ	杉 谷 輝	○ タ	2 - 1	教 務	ソ フ テ ニ ス
タ	井 上 宏	保 体			ヨ ッ ト
タ	副 島 弥 重 一	タ		○ 生 徒 指 導	バ ス ケ ッ ツ ボ ール
タ	松 永 弘 之	タ			ボ 一 ト
タ	宮 川 和 幸	タ		教 務	野 球
タ	手 塚 芳 美	○ タ	1 - 6	教 務	バ ス ケ ッ ツ ボ ール
タ	安 藤 明 子	音 楽			
タ	瀬 戸 佳 子	英 語		○ 図 書 研 修 司 書 教 諭	書 道
タ	諸 江 善 文	タ		図 書 研 修	英 語

○印 主任 ☆印 情報システム担当 ◇印 特別支援教育コーディネーター

職員

職名	氏名	担当教科	担当ホームルーム	校務分掌	部活動顧問
教諭	中村信	英語	2-4	生徒指導	ソフトテニス
タ	原徹一	タ	3-2	教務	弓道
タ	猿渡聰子	タ		保健	茶道
タ	鶴田順一郎	タ	3-3	図書研修	ソフトボール
タ	中森一彰	○タ	2-6	進路指導	バレーボール
タ	高田亜紀	タ	2-3	図書研修	吹奏楽
タ	高平奈津子	タ	1-1	図書研修	ソフトテニス
タ	中村厚子	○家庭		生徒指導	ボランティア研究
養護教諭	古川尚美			◇保健	
実習教師	出本幸子			保健	卓球
主査	前田美澄			会計・庶務	
タ	古賀俊郎			○管財・会計・庶務	
主事	野口ほのか			会計・庶務	
タ	田代睦美			図書	
副主任用務員	倉光厚子			用務	
用務員	平田孝二			用務	
講師	佐野努	地歴公民		生徒指導	野球
タ	高嶋章一郎	○美術		生徒指導	美術
タ	黒木理恵	英語		図書研修	卓球
タ	金丸朝美	国語		教務	テニス
タ	月光康行	音楽		生徒指導	吹奏楽
タ	山口崇	地歴公民		教務	陸上写真
タ	下村忠義	国語		進路指導	陸上
タ	測上望	数学		進路指導	ソフトボール
タ	中村郁恵	保育		図書研修	ボート
タ	吉田侑司	保育		生徒指導	ヨット
養護助教諭	原口有字子			保健	
非常勤講師	熊本晴文	書道			
	溝口洋子				
進路助手	増本あゆみ			進路指導	

○印主任 ★印情報システム担当 ◇印特別支援教育コーディネーター

学校医等

専門	氏名
校 医	中小田和宏
歯 科 医	牟田悟朗
眼 科 医	加藤征彦

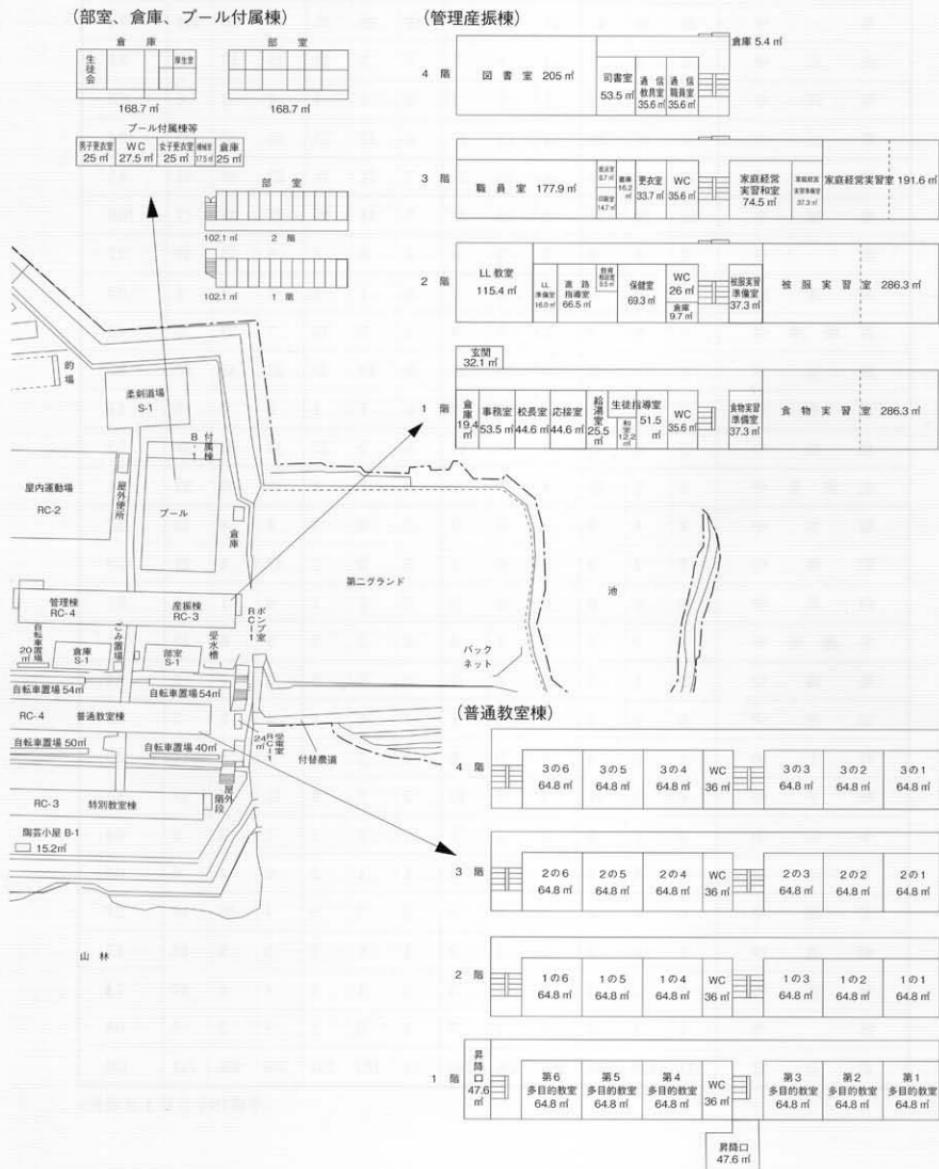
専門	氏名
耳鼻科医	伊澤秀身
薬剤師	原田晃

## 生徒数

中学校	1年			2年			3年			総計			百分率 %
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
第一中	29	16	45	21	23	44	19	16	35	69	55	124	17.4
佐志中	2	4	6	3	4	7	5	9	14	10	17	27	3.8
第四中	0	0	0	1	1	2	2	2	4	3	3	6	0.8
第五中	8	16	24	14	13	27	6	17	23	28	46	74	10.4
鏡中	10	8	18	6	19	25	7	11	18	23	38	61	8.5
鬼塚中	16	18	34	9	13	22	7	14	21	32	45	77	10.8
湊中	2	4	6	3	3	6	1	6	7	6	13	19	2.7
大良中	0	0	0	0	3	3	2	1	3	2	4	6	0.8
西唐津中	1	8	9	2	7	9	4	8	12	7	23	30	4.2
浜玉中	9	13	22	10	14	24	8	15	23	27	42	69	9.7
巖木中	0	5	5	0	2	2	0	1	1	0	8	8	1.1
相知中	2	6	8	4	9	13	8	9	17	14	24	38	5.3
北波多中	8	2	10	1	2	3	3	6	9	12	10	22	3.1
切木中	4	4	8	1	0	1	3	0	3	8	4	12	1.7
肥前中	7	2	9	5	0	5	5	2	7	17	4	21	2.9
向島中	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0.1
名護屋中	0	2	2	7	1	8	2	3	5	9	6	15	2.1
馬渡中	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0.4
加唐中	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0.3
打上中	1	2	3	6	0	6	2	3	5	9	5	14	2.0
呼子中	6	5	11	3	7	10	3	5	8	12	17	29	4.1
小川中	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	2	3	0.4
七山中	0	1	1	1	2	3	1	1	2	2	4	6	0.8
有浦中	0	6	6	2	6	8	2	3	5	4	15	19	2.7
値賀中	1	2	3	1	1	2	1	6	7	3	9	12	1.7
学区外	2	2	4	2	3	5	0	1	1	4	6	10	1.4
県外	1	1	2	2	1	3	1	0	1	4	2	6	0.8
総合計	111	129	240	104	136	240	94	140	234	309	405	714	100

(平成19年5月1日現在)

## 校舎配置図







主な就職先（過去5か年間）

項目			一般企業		国家公務員	地方公務員	自衛隊
卒業年次	学科 (コース)	性別	県内	県外			
平成15年	普通科	男	6	2		1	1
		女	19	4			
	普通科 英語コース	男	4				
		女	2				
	合計		31	6		1	1
	普通科	男	8	2		3	1
平成16年		女	8	3		1	
普通科 英語コース	男						
	女	3					
合計		19	5		4	1	
平成17年	普通科	男	7	2		1	4
		女	11	2			
	普通科 英語コース	男					
		女	3	1			
	合計		21	5		1	4
	普通科	男	3	2		1	2
平成18年		女	6			1	
普通科 英語コース	男	1			2	1	
	女	2	1				
合計		12	3		4	3	
平成19年	普通科	男	6	2	3	2	2
		女	10		1	1	
	普通科 英語コース	男					
		女	2			1	
合計		18	2	4	4		2





# 生徒会活動 (部活動)

	部活動名	部活動生徒数			部活動名	部活動生徒数			
		男	女	計		男	女	計	
文化部	文芸	3	13	16	バレーボール	1	20	21	
	理科			0	バスケットボール	29	31	60	
	演劇	4	13	17	卓球	11	10	21	
	吹奏楽	4	37	41	剣道	1		1	
	家庭研究		13	13	弓道	39	31	70	
	美術	15	5	20	陸上	7	11	18	
	書道		21	21	野球	43	4	47	
	茶道		15	15	サッカー	38	5	43	
	華道		6	6	ソフトボール		21	21	
	英語	13	67	80	ソフトテニス	19	19	38	
	写真	7	4	11	テニス	11	18	29	
ボランティア	JRC部門	1	9	10	バドミントン	27	16	43	
	IAC部門		7	7	ボート	4	13	17	
小計		47	210	257	ヨット	12	7	19	
						小計	242	206	448
						総計	289	416	705

## 男女バレー部

男女バレー部の歴史を正確に記す資料も残っていない。そこで、近年の活動概況を記すことにする。

現在男子バレー部は一名で活動を行っている。一名では何も練習ができないため、女子部の練習に時々お世話になっている。この地区に男子バレー部のある中学校が少ないこともあり、部員確保が難しい状況であるが、また六人部員がそろつて、試合ができる日を信じて練習に励む毎日である。

女子バレー部は、ここ数年、チーム存続が危ぶまれるくらいの少人数で活動を続けていた。公式戦において目立った戦績を残すこともできなかつた。二年前くらいから、部員が十名以上の数を安定するようになり、二〇〇七年一月時点では十二名で活動を行っている。バレー部の技術を磨くこと



以上に人間的な成長を目指すことを重視して、毎朝校庭付近の掃き掃除をするなどの意識改革を続けています。また、月に一回のベースで強化合宿を行い、技術向上にも努めています。最近では公式戦でも力を発揮できるようになり、徐々に結果が現れ出しはじめている。とはいってもまだ成長途上のチームであり、今後の一層の努力が求められる。

平成12年度 高校総体 第4位  
平成13年度 選抜大会 ベスト8  
平成14年度 春季大会 ベスト4  
平成15年度 高校総体 第3位

### 男子バスケットボール部



平成9年度 国体少年佐賀県代表選手 千々岩利幸  
平成10年度 選抜大会 ベスト4  
平成11年度 新人大会 第3位  
春季大会 準優勝  
春季大会 準優勝 (九州大会出場)  
高校総体 ベスト4  
平成12年度 男子団体戦 第2位  
平成13年度 ケンイチ・伊藤・岸田幸三組 第2位  
平成14年度 男子団体戦 第2位  
平成15年度 ケンイチ・伊藤・岸田幸三組 第2位  
平成16年度 男子団体戦 第2位  
春季大会 準優勝  
高校総体 第3位

本校卓球部の歴史を詳しく調べることは出来なかつたので、最近十年間の県高校総体の上位成績を記したいと思う。

### 卓球部

新人大会 ベスト4  
全九州春季県予選 第3位

平成12年度から平成十八年度までの近況七年間の公式大会成績を紹介すると、以下のような内容である。詳細は、唐津西高校のホームページにある部活動紹介にも掲載されています。

平成12年度 高校総体 第4位  
平成13年度 選抜大会 ベスト8  
平成14年度 春季大会 ベスト4  
平成15年度 高校総体 第3位

【国体少年佐賀県代表選手 藤 勇二】  
平成16年度  
春季大会 準優勝  
高校総体 第3位  
【国体少年佐賀県代表選手 坂本雄一】  
平成17年度  
選抜大会 準優勝  
春季大会 第3位  
高校総体 第3位  
平成18年度  
春季大会 ベスト4  
高校総体 第4位  
【国体少年佐賀県代表選手 井上良介】  
平成19年度  
選抜大会 ベスト4

平成12年度  
男子団体戦 第3位  
平成13年度  
男子団体戦 第3位  
平成14年度  
男子団体戦 第2位  
ケンイチ・岸田幸三組 第3位  
平成15年度  
男子個人戦シングルス 優勝  
ケンイチ・岸田幸二  
平成16年度  
男子個人戦シングルス 優勝  
中島俊哉  
平成17年度  
男子個人戦シングルス 優勝  
ケンイチ・岸田幸二  
平成18年度  
男子個人戦ダブルス 第3位  
戸川博文・榎 幸三組

剣道部



平成15年度 男子団体戦 第3位  
平成15年度 男子個人戦ダブルス 第3位  
戸川博文・宮崎庸兵組

個人戦シングルス 優勝  
戸川博文

高校総体の団体戦優勝は無かつたものの、川添貞光先生（現大和養護学校教頭）指導の下で、着実に力をつけた選手たちは、この他の新人戦・学年別・選抜大会でも優秀な成績を多数残している。

女子は部員不足で体部状態のときもあったようだが、今年の県高校総体の団体戦では、決勝リーグにあと一歩届かずべスト8であった。

ここ数年は、男女生とも上位成績は残せていないが、勉強との両立を目指し、先輩の成績に追いつき追い越せる。気持ちで日々練習に励んでいる。

近年、剣道を志す青少年の減少とともに相まって、輝

かしい実績を持

つ本校剣道部も

部員不足に悩ま

されている。し

かし、現在の部

員も少人数なが

ら先輩方が築い

た歴史を受け継

ぎ、「仁」の心

を胸に毎日の稽

古に励んでいる

ところである。



賞状

優秀校 唐津西高等学校 青木博文と幸平選手 王冠旗  
高校女子剣道大会において  
頭書名のお優秀な成績を  
収められたのでこれを  
賞します

九州剣道連盟 九州新聞社 西日本新聞社  
平成26年4月21日

## 三道部（女子）

平成十二年度から平成十八年度までの最近七年間の公式大会及び一年生練成大会の成績を紹介する

と、以下のようないく

平成12年度 一年生練成大会 団体3位  
平成13年度 高校総体 団体準優勝

【九州高校総体出場】

個人準優勝（山崎裕子）

【全国・九州高校総体出場】

平成14年度 一年生練成大会 团体ベスト8、個人

4位（青木美樹）

春季大会 団体ベスト8

個人準優勝（二年・青木美樹）

新人大会 第3位

選抜大会 個人優勝(播磨絵梨香) 全国大会にて決勝進出(ベスト15入り)

平成16年度 一年生鍊成大会 Bチーム・予選2位

平成17年度 で決勝トーナメントへ

春季大会 ベスト4

新人大会 団体第4位 九州大会出場

平成18年度 春季大会 個人優勝(3年・平川奈緒子)  
一年生鍊成大会 ベスト8

平成19年度 九十周年記念誌を見ると、平成五年度に高校総体

で団体準優勝をし、九州高校総体に出場をしてい

た。近年は、平成十三年度に八年ぶりに高校総体團

体準優勝をしてからは、数年おきに個人なり団体な

りで入賞をしている。着実に実力をつけてきてお

り、九州大会以上を目指す雰囲気はある。今年度は

地元唐津で全国高校総体が開催されることもあり、

悲願の団体全国大会出場を目指し日々努力を続けてお

いるところである。

## 陸上部

昭和51年 女子100mH・五種1位  
昭和53年 男子やり投げ1位  
昭和10年 高校駅伝男子6位入賞

西高陸上部の歴史は、詳しい資料が残っていないた

め創部まで遡るこ

とは困難である。

佐賀県高体連史か

ら主な成績を調べてみた。

昭和32年 女子総合3位

昭和33年 女子総合3位

昭和34年 女子総合2位・やり投げ1位

昭和35年 女子総合3位

昭和37・38年 女子総合2位

昭和40年 女子総合2位・やり投げ1位

昭和41年 女子総合2位

昭和42年 女子やり投げ1位

昭和43年 女子100m・200m1位

昭和46年 男子五種・走幅跳1位

昭和47・48年 女子やり投げ1位

昭和49年 女子総合2位  
800m・五種1位

昭和50年 女子総合3位



## 野球部

学校創立百周年を迎えた平成十九年度野球部は、三年生八名、二年生十六名、一年生十五名、マネージャー四名計四十三名で活動しています。今年の夏の甲子園予選は、残念ながら3回戦で敗退しました。新チームは十月一日現在、公式戦4勝3敗で地区新人戦準優勝、秋季九州大会シード権を獲得しましたが、初戦敗退しました。この敗退を



反省して、現在守備を重点的に練習しています。(写真は今年度の夏の大会ベンチ入りメンバーです。)

九月十七日五校O.B戦後の祝賀会に出席させて頂きました。今年度から、商業・工業・東・嚴木で行われていた四校O.B戦に、唐津西高校が加入して五校O.B戦となりました。



祝賀会には、県知事吉川氏、唐津市長坂井氏が出席され、会は約三五〇名の出席で行われ、各学校OBが壇上で校歌・応援歌を熱唱するなど盛大に終りました。その席でそして二次会で、西高OBの方々とお話し合いを行いました。方々とお話しする機会があり、西高野球部は、軟式野球部から硬式野球部へと変わった当時、グランードは石だらけで、とにかく弱いチームで甲子園を夢見るような環境ではなかつたけれども毎日楽しく活動させていた事をお聞きしました。しかし、そんな中でも、先輩から後輩へと伝統は引き継がれ、吉丸監督

率いるチームが甲子園出場を果たし、甲子園では元中日ドラゴンズ投手近藤がいた愛知県代表享栄高校に一安打完封負けを喫しましたが、その近藤投手は翌年、プロ野球で読売巨人軍に対してノーヒット・ノーランを達成し、巨人は唐津西高より弱いと話題になったそうです。OBの方々のお話を聞き、ぜひ母校に立ち寄って頂き、現在の部員にお話しして頂ければと思いました。そこで、野崎野球部OB会長とも相談し、毎年十一月にO.B戦を行うことになりました。ぜひ、参加して頂ければと思います。

最後になりましたが、まつら同窓会の会員様今后のご健勝と御活躍をお祈りし、今後とも唐津西高野球部に対し、ご支援・協力を賜りますようお願いします。

## サッカー部

サッカー部の歴史は浅く、新校移転後の創部である。昭和五十六年(一九八一年頃)、坂本春雄氏(唐津ガス)を中心とするサッカーガルが好きな仲間が、サッカー部を創設したいので顧問になつてほしいと担任の江里口忍先生(退職)にお願いしたところ、快く引き受けたそうだ。その後、久我有策先生(故人)、近藤芳樹先生(現伊万里商)、坂本雅邦先生(現伊万里農林)、西寛亮先生(現嚴木)、矢次康浩先生(現唐津吉翔)の精力的な指導で、年々

率いるチームが甲子園出場を果たし、甲子園では元中日ドラゴンズ投手近藤がいた愛知県代表享栄高校に一安打完封負けを喫しましたが、その近藤投手は翌年、プロ野球で読売巨人軍に対してノーヒット・ノーランを達成し、巨人は唐津西高より弱いと話題になったそうです。OBの方々のお話を聞き、ぜひ母校に立ち寄って頂き、現在の部員にお話しして頂ければと思いました。そこで、野崎野球部OB会長とも相談し、毎年十一月にO.B戦を行うことになりました。ぜひ、参加して頂ければと思います。

創部当時、西高にはグラウンドが一つしかなくサッカーハーの他に野球部、ソフトボール部、陸上部がひしめきあつて練習していましたが、昭和六十一年に野球部が甲子園に出場したことを契機として

新グラウンドの話が持ち上がり、平成元年十一月に第二グラウンドが完成してサッカーハーの練習場が移動した。このことにより、広い練習場でのびのびと練習ができるようになつた。

卒業生は、大学、社会人でプレーを続けたり、指導者、または審判としてそれぞれの分野で活躍している。また、毎年一月三日にはO.B戦が行われ、現役生との交流の機会となつていている。

平成十九年にはサッカーハーバスを購入し、遠くは広島・鹿児島などに遠征を繰り返し強化をおこなうなど、県の上位進出をめざして練習に励んでいる。今後の双松健兒サッカーハーの活躍に期待したい。



## ソフトボール部

この原稿は二十八年間唐津西高校ソフトボール部の監督をされた植口輝夫先生の記述を主に参考にさせていただいた。

昭和二十三年四月、唐津高校ソフト部として発足。同年の第一回県大会に出場して第2位。練習は昭和三十六年まで今の東高グラウンド、二十七年から西校舎に移す。

輝かしい戦績の一部を紹介したい。

(一) 県大会優勝年度 昭和24、25、26、28、30、31、32、33、34、37、40、62、63、平成4、8、34、37、

(二) 全国大会出場年度 30、31、32、33、34、37、

(三) 国民体育大会出場年度 (単独チームとして)  
現在は第2グラウンドでサッカーチームと共にしなが  
ら毎日、元気に活動している。この六年では県大会  
成績二回と過去の戦績に比べたら数段劣るが、今

後も全国大会目指して頑張りたい。

## ソフトテニス部

ソフトテニス部の創部を正確に記す資料は残っていない。そこで、近年の県大会成績などについて記述する。

男子は、平成十五年度新人戦、中島・小林組が個人でベスト8入り (九州大会出場) を果たしている。また、平成十七年度新人戦では団体第3位となり、また個人でも西元・中山組がベスト8入り (九州大会出場) を果たしている。今年度高校総体でも、団体ベスト8という結果を残している。

女子は、平成十六年度新人戦で団体ベスト8、平成十七年度高校総体で団体ベスト8という結果を残している。

現在ソフトテニス部は、男子十二名、女子十六名で活動している。技術の向上と共に、精神面の成長を重視しており、文武両方で「知行合一」を実践できるよう日々努力している。定期的に練習試合や宿泊を行ない、公式戦でも力を發揮できるよう努めている。今後は、これまで以上の成績を残すことができるよう、日々の練習を積み重ねて頑張っていきたい。

## テニス部

昭和六十三年四月、テニス同好会として発足。翌年

の第二十七回県総体で男子団体2位となり九州大会出

場。また、個人戦シングルスで市丸選手が優勝し全国大会に出場。

平成九年四月同好会から男子テニス部、女子テニス部と部へ昇格。

輝かしい戦績の一部を紹介したい。

県総体団体戦 準優勝 (九州大会出場) 男子平成元年・18年、女子平成11年・12年・13年

3位 男子平成19年、女子平成10年

県総体個人戦シングルス 優勝 (全国大会出場・国体出場) 男子平成12年 (野中選手)

女子平成13年 (松本選手)

準優勝 (全国大会出場・国体出場) 男子平成元年 (市丸選手・木村選手)

女子平成12年 (野中選手・松本選手)



現在も全国大会・九州大会を目指して毎日練習している。今年度佐賀で開催された青春佐賀総体にも、個人戦シングルスで男子の村山選手が出場した。来年以降も連続で出場できるように頑張っていきたい。

## バドミントン部

平成四年（一九九二年）頃愛好会として活動開始。平成十年（一九九七年）頃部として発足。

部発足前後には、県高校総体で、女子団体が好成績を出している。平成六年、平成九年、平成十年で準優勝、平成五年、平成七年、平成八年、平成十一年で第3位であった。

しばらく成績は低迷していたが、平成十八年度新人大会において、女子団体第3位、男子団体ベスト8、平成十八年度普及向上大会において、男子シングルス準優勝と第3位。平成十九年度春季ダブルス大会において、男子ダブルス第3位、平成十九年度高校総体において、女子団体第3位、男子団体ベスト8、男子ダブルスベスト8など、最近盛り返しつつある。

## ボート部

ボート部の古い記録はほとんど残っていないので、最近十年間の全国での入賞を中心にここに書かせていただきます。

平成十三年度にインターハイで宮谷康裕君がシングルスカルで2位に入賞。これが把握できている中の唐津西高校ボート部の最高成績のようです。宮谷君は同じ年の宮城国体でも同種目で4位入賞を果たしています。その後宮谷君は、日本体育大学、日本体育大学大学院へ進学し、現在もボート部員として活動を続けています。先日の秋田国体でも成年男子フォアの選手として出場してくれました。

平成十六年度卒業の三浦友之君は、高校時代に全国大会で入賞することはありませんでしたが、仙台大学に進学後も競技を続け、今年イギリスで行われた二十三才以下

下の世界選手権に日本代表として選ばれ、出場しました。現役の高校生たちも、身近な先輩が日の丸を背負って世界大会に出場したことを喜ぶと共に、自分の練習の大きな励みとなつたようでした。

## ヨット部

本校ヨット部は一九七六（昭和五十二）年の佐賀国体（若槻国体）に向けた選手強化のため、その一年前の一九七五（昭和五十）年に発足しました。唐津西高校創立百周年の歴史と比較すると、発足して三十二年のヨット部の歴史は浅いです。しかしながら、草創期から現在まで全国高校総体や国民体育大会をはじめとした多くの競技会で、毎年上位に名を連ねるほどの競技力の向上を実現するに至っています。さらに、近年では海外での国際大会へもほぼ毎年参加することが



## 力・精神力に加え



て、「生きる力」を肌で感じる機会が増えたことは、何のにも代え難い経験であり、その後の人間形成に影響することが大きい

に見込まれるのではないかと思われ

ます。このような部員諸君の活躍も、ひとえに佐賀県ヨット連盟や同窓会・振興会など多くの方々の御理解や御支援によるものであると痛感しています。誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

礼申し上げます。

今年は記念すべき唐津西高校創立百周年の年に、佐賀で全国高等学校総合体育大会が開催されます。

なかでもヨット競技は地元・唐津で行われます。是非とも、全員で喜びを分かち合えるかたちで競技を終えることができるよう尽力し、また、今年以降も同様により高い目標を実現できるよう努力し、本校のために貢献していきたいと思っております。

## 生徒会

学校における生徒会行事の企画や運営に尽力していました。特に、生徒会最大の行事「双松祭」では

夏の暑い中、全校生徒のために奔走してきました。

▼第49期

〈生徒会長〉吉浦和宏〈副会長〉石橋佑紀・正木

三千美〈文化委員長〉菊池修平〈文化副委員長〉前

田真菜〈文化副委員長〉井手志保〈体育委員長〉吉

田寛之〈体育副委員長〉宮城皇大〈生活委員長〉松

本幹大〈生活副委員長〉横井信〈監査委員長〉加茂

都昭

近況として、第四十六期から第五十二期の生徒会

本部役員を紹介します。

### ▼第46期

〈生徒会長〉井上裕介〈副会長〉草場友子〈文化委

員長〉山口利絵〈文化副委員長〉千葉晃子〈体育委

員長〉浜口慎吾〈体育副委員長〉井上瑠〈生活委員

長〉小宮林裕二〈生活副委員長〉山本一生〈監査委

員長〉笛ボ杜〈監査副委員長〉松本愛子

▼第47期

〈生徒会長〉井上瑠〈副会長〉末廣伸作・上田久美

子〈文化委員長〉平尾菜奈〈文化副委員長〉大崎貴

史〈体育委員長〉野崎康太〈体育副委員長〉中島雅

文〈生活委員長〉井上嘉美・田島香菜子〈監査委員

長〉三島史嵩

### ▼第48期

〈生徒会長〉百田綾香〈副会長〉中島雅文〈文化委

員長〉内藤千晶〈文化副委員長〉森藍子〈体育委員

長・大崎貴史〈体育副委員長〉石橋佑紀〈生活委員長〉吉田麻理子・横井信・前田優貴〈監査委員長〉三島

（生徒会長）森万佑子〈副会長〉藤野真季〈文化委員長〉陽向由佳〈文化副委員長〉前川隆輔・前田由

真〈体育委員長〉長尾晋介〈体育副委員長〉田嶋愛・坂口朝紀〈生活委員長〉吉田雅〈生活副委員長〉麻

生陽香

### ▼第52期

〈生徒会長〉前田由真〈副会長〉麻生陽香〈文化委員長〉陽向由佳〈文化副委員長〉一瀬康平・脇山由

子〈体育委員長〉坂口朝紀〈体育副委員長〉山田信二〈生活委員長〉今田智之〈生活副委員長〉首藤翔

（監査委員長）長嶋建治〈監査副委員長〉新温司

史嵩

# SELHiについて

## 唐津西SELHiの挑戦

### SELHiの背景

二十一世紀入り、インターネットの普及・資本の流動化により私たちの生活は地方、身近なレベルにおいても急速に国際化しています。しかしながら急速な国際化がもたらしたのものは、いいことばかりではありません。環境問題の悪化、地域・民族紛争の増加と激化など私たちが解決しなければいけない課題も山積しています。そしてその課題は特定の地域や国が抱えるものではなく、多くの国々が協力して解決するためにコミュニケーションの手段として英語の役割は益々重要になります。

このような世界情勢・国際的な変化の中で平成十五年三月に文部科学省は「英語が使える日本人」の育成のための行動計画を発表しました。この行動計画の目標に「英語を使用する活動を積み重ねながらコミュニケーションの能力の育成を図る」掲げられ、SELHi（スリーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール）事業が始まりました。

### 唐津西SELHiの取り組み

一方唐津西高校では、平成三年四月に英語コースを設置し、海外語学研修・イングリッシュ・キャンプなどを実施してきました。英語コース創立後十数年を経過して、新しい指導法への挑



指導法講習会（平成18年7月25日）：小菅和也先生（武藏野大学）

戰によつて生徒の興味と関心を高め運用力を伸ばすことを目標に平成十八年度より文部科学省より指定を受け、SELHi研究を始めました。そのテーマは「多読プログラムを基本に多様な言語活動を通して、四技能（リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）の英語運用力の養成を目指す指導法・カリキュラムの開発」です。

研究の柱は三つで、「（1）多読プログラムを主軸に置いた高校英語シラバスの開発、（2）「英語による英語の指導法」の研究（『多読』によつて得られたインプットを運用力に結びつける効果的な音読活動の開発』です。もう少し易しくいえば、「英語の授業で日本語を使わずに、たくさん読んで、英語を使えるようになろう」ということです。

具体的には、この目標に沿つて「指導法講習会」や「公開授業」を開くことができました。指導法講習会には唐松地区の中学校の先生も参加し「今後の参考になった」という声が多かったです。「公開授業」に対しては「唐津西高校の研究の成果を他の県内高校に広げたいこう」という応援もありました。

### 今後の方向性

唐津西高校のSELHi研究指定は、唐津西高校が百一年目を迎える平成二十年度に最終年度を迎えます。この最終年度のテーマを「Directions Toward Bicentennial」にしています。このSELHi研究が、今後の唐津西高校の發展に多少でも寄与できるように精進・努力していくたいと考えています。



公開授業（平成18年11月14日）：中森一彰教諭、ニック先生

## なつかしき母校

唐高女 24回卒

松尾 綾

私は唐津高等女学校第二十四回卒業である（昭和八年四月）。思えば遠い日々昔のことである。女学校と聞いただけで胸熱くなる思いである。当時女学校と言えば皆の憧れの的であった。この度、母校の創立百周年を迎えるにましてもお目出たいことである。

女学校時代私は西ノ門小路と言うところに住んでいて、学校への通路は有礼坂とゆう坂道を通つての朝夕であった。当時は現在のような男女共学ではなく通学路にしても、なるべく男子の中学生と一緒にならないようというきびしいきまりがあった。制服にしてもスカート丈もちゃんときまりがあり、時々服装検査というものがあつていたと記憶する。現在の高校生からみれば、おかしく思われるかもしれないが、皆それをきちんと守つていたのである。当時女学校は現在の総合庁舎のところに建つていて、私たちは波の音をききながら、日々勉強していた。

校庭の西側に小高い丘があり記念園と言う名稱がありとてもロマンチックな場所で私たちを楽しませてくれたようである。運動場もさほど広くはなかつたが、バレーバスケット、テニス、陸上競技など、とても楽しかった。私は陸上競技をやっていたが、小野原先生という男の先生からきびしく鍛えられたが、でも楽しかった。殊に对外試合が近づくとうす暗くなるまで練習で鍛えられた。今一度走つてみたい。

祈ること大なるものである。

秋の運動会は楽しかった。中でも先生対生徒のリレーは面白くて、私と志賀先生という男の先生が一緒に走つた時、先生がコーナーのところどころでしまわれた。私は咄嗟に先生に走りより先生を助けおこして走つたが、見事なスポーツマンシップであるとほめて頂いた思い出があるのもたのしいことのひとつである。そのなつかしい先生もすでになく淋しさやるかたもない。当時の諸先生方の思い出は盡きない。

卒業後は同窓会という大きな団結の中の一人として母校との交流を絶やすことなく楽しくすごさせて頂いている幸せの中に在る。

女学校が現在の西高等学校になり場所も坊主町から町田と言う現在の場所に移転されたが私たちの在校時代とは違男女共学の現在共に手をつなぎ合いながらの通学のさまは誠に羨ましい限りである。先年野球部が甲子園出場の際、今は亡き石丸会長・村瀬副会長と一緒に同窓会としての援助に走り廻つたこともなつかしい思い出である。

朝夕の通学の彼ら彼女の姿を見る時昔とは時代の相違を思う時もあるが、年令と時代の相違こそあれ、かつての高等女学校、現唐津西高等学校という同窓の老いと若者が創立百周年を共に迎えるというよろこびは何にもましてうれしいことである。

今後の西高等学校の益々の発展を









## 普通課程 2、3年 (37、36年度入学)

履修方法	教科	科目	共通		コ一ス				
			1年	I			II		
				2年	3年	計	2年	3年	計
国語	国語	甲	4	3	3	10	3	3	10
	国語	乙		乙3	3	2	乙3	3	2
	漢文			漢3	2		漢3		5
	計		4	6	7	17	6	5	15
社会	社会		5						5
	日本史				日5			5	5
	世界史			5		5	5		5
	人文地理				人5			5	5
共通	数学	I	6	3		9	3		9
	数学	II		3		3	3		3
	数学	III			5	5			
	計		6	6	5	17	6	10	20
理科	生物		5			5			
	物理			物2	5	物3	5	物5	5
	化学			化3		化2	5	化5	
	計		5	5	5	15	5		10
履修	保健体育	健康	1	1		2	1		2
	保育	体育	2	2	3	7	2	3	7
	計		3	3	3	9	3	3	9
	外国語	英語	5	5	5	15	5	5	15
芸術	音楽	音2							
	美術	美2	2			2			2
	書道	書2							
	計		2			2			2
職業	商業	一般	商2   男2			男2			男2
	計		2			2			2
	家庭	一般	家2   女2			女2			女2
	計		2			2			2
	小計		32	30	30	92	30	23	85
選択	芸術	音楽		音2	音2		音2	音2	
	美術			美2	美2		美2	美2	
	書道			書2	書2		書2	書2	
	商業	一般		商2	2	2	商2	2	6
履修	商業	経済		経2			経2		
	商業	簿記			簿2			簿2	
	家庭	一般		家2	家2		家2	家2	
	食物				食2			食2	
数学	数学	III					数III5	数III5	
	数学	III					物5	5	5
	理化						化5	5	
	小計			2	2	4	2	9	11
特別教育活動	計		2	2	2	6	2	2	6
総	計		34	34	34	102	34	34	102





## 唐津西高等学校 校歌

三根寿太 作詞  
坂本不二夫 作曲  
(昭和32年9月)



めづらのさとのふみのあと  
ゆかしおもかげしのびつつ  
ユメジニカヨウシオサイノ  
ニシノハマベノソラアオミ  
あおぐもなびくうきだけの  
すがたもきよきあさはらけ



ちかいもあらたいそしめばさぎりはれゆくまつらがたあ  
ナギサニムツブグンゾウノアグルシブキニソラアオミ  
くろしおおどるげんかいとふだんのどりよくきそうなりあ



（はれやかに伸びる）  
ア一たましいのゆり一かごよもゆ  
ユ一シヤクトド一ウノスコ一ヤカよサモタ  
あ一せいじゅ一んのかこん一げきやタ  
ギ力



（中広く掌をと）  
る一きほうよまな一びやよはこ  
ル一チカラヨマナ一ビヤヨハ  
き一りそうよまな一びやヨキ  
カラヨマナ一ビヤヨキエ



（はこりをもって）  
れよにしこうわれらのにしこう  
工日ニシコウワレラノニシコウ  
あれにシコウワレラノニシコウ

ご るしん り のうみー に ぬき てん をきり  
 りにいの ちをうけー でくお てんのはな

つ 一つなみ まかたなみの をこえたえがゆくわれー  
 さ いくぶんのかのそのがをがやすわれー

あ 一はまつら一のはまーのちの か一らのがー  
 あ 一は

とちからちかのがくと 3へ  
 のぞみ

♪Coda

みのがくと D.S. (1回目)  
 rīt.

Fine

唐津高等学校 校歌

.852

The musical score consists of two staves of music. The top staff is in common time (C) and the bottom staff is in common time (C). The lyrics are written below the notes in Japanese. The score begins with a piano introduction followed by vocal entries.

Top Staff Lyrics:

- うんじら つかりがそやー きは だそ いこく一のはのにり
- おいうしそ おかくぜのへり いそわうをはかせ なかでいの
- さとうにいきづくわれら一はまつ つーらのー
- はまのひかる ひかりのがくと ひかりひかー
- りひかりのがくと 2.はてなくひろ  
3.へいわとしん

Bottom Staff (Piano Accompaniment):

Accompaniment chords and bass line are provided for the piano. The bass line follows the vocal parts closely, providing harmonic support.



四

朝に希望夕べには 満ちたる感謝ささげつつ  
學びいそしむ乙女子の 行く手に永遠の光あれ

三

智識の泉底深し 婦徳の花の枝高し

倦まず進まむ我が友よ 理想の道は遙かなり

二

榮ある歴史うるはしの 自然の愛に抱かれて  
皇御國の輝ける 女とならん我が願ひ

妃の宮の御威徳を 畏み仰ぐ鏡山  
虹の松原澄む月は くもらぬ操教ふらん

一

唐津高等女学校 校歌

The musical score consists of five staves of music for voice and piano. The vocal part is in soprano range, and the piano part provides harmonic support. The lyrics are written below the vocal line in Japanese. The score is in common time and G major.

**Lyrics:**

うそをゆめ  
みけいき  
しあすば  
めしみう  
のうをゆ  
さえし  
いあきた  
のるのに  
みけいき  
しあすば  
めしみう  
のうをゆ  
い  
とはふべ  
くしなに  
をのは  
かしふゑ  
一  
こんのた  
みのはる  
い  
くしなに  
をのは  
かしふゑ  
一  
こんのた  
みのはる  
い  
とはふべ  
くしなに  
をのは  
かしふゑ  
かだだき  
がーーーー  
みかたげ  
やれかつ  
までしき  
にすうま  
あ  
お  
ぐ  
か  
な  
い  
お  
に  
の  
し  
か  
だ  
だ  
き  
が  
ー  
ー  
ー  
ー  
み  
か  
た  
げ  
や  
れ  
かつ  
ま  
で  
しき  
に  
す  
う  
ま  
じ  
め  
ま  
な  
の  
ら  
一  
び  
ま  
み  
ず  
い  
つ  
く  
そ  
そ  
ば  
に  
ま  
し  
ら  
の  
ん  
む  
す  
か  
わ  
お  
む  
が  
ご  
つ  
や  
と  
め  
き  
け  
も  
こ

## ◎組織

## 実行委員会



## ◎記念事業

- ・体育館ステージ緞帳一式の更新
- ・記念誌の発行
- ・校歌のC.D作成
- ・校舎・校地の航空写真撮影

## ◎業務分担

委員長：校長 副委員長：同窓会長、振興会長、教頭、事務長

項目	同窓会	振興会	教頭・事務長	主任(職員)	係(職員)
総務	奥村（会長）	井手（会長） 青木（顧問）	松本（教頭） 森永（事務長）	山下 (教務主任)	大島、野上、原、手塚、杉谷、福本、金丸、前田、野口、 倉光、平田
記念式典	太田（副会長）	麻生（副会長）	松本（教頭）	副島 (生徒指導主事)	中村、井上、瀬戸、西野、松永、彌富、佐野、吉田、 古川、高鶴、月光
祝賀会	九鬼（副会長）	岡部（副会長）	松本（教頭）	渡邊 (同窓会事務長)	高橋、諸江、中村、福富、池田、猿渡、鶴田、宮川、 森、下村、潤上
記念誌	坂本（副会長）	波多江 (副会長)	松本（教頭）	松野 (3年担任)	久田、田中幸、田中重、下田、高平、山口、出本、 田代
記念事業	近藤（監査）	林（副会長）	森永（事務長）	熊谷 (3学年主任)	本山、佐藤、内山、中森、黒田、高田、黒木、中村
財務	中島（監査）	中川、橋本 山添（監査）	森永（事務長）	古賀俊 (事務主任)	増本、米田